

# JobCenter

R12.6  
〈インストールガイド〉

- Windows 2000, Windows XP, Windows 2003 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- UNIX は、X/Open カンパニーリミテッドが独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
- Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。
- SAP, R/3, BW は、SAP AG の商標もしくは登録商標です。
- HP-UX は、米国 Hewlett-Packard 社の商標です。
- AIX は、米国 IBM Corporation の商標です。
- NQS は、NASA Ames Research Center のために Sterling Software 社が開発した Network Queuing System です。
- その他、本書に記載されているソフトウェア製品およびハードウェア製品の名称は、関係各社の登録商標または商標です。

なお、本書内では、®、TM、©の記号は省略しています。

#### 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェア）は、外国為替令に定める提供を規制される技術に該当いたしますので、日本国外へ持ち出す際には日本国政府の役務取引許可申請等必要な手続きをお取り下さい。

許可手続き等にあたり特別な資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業拠点にご相談下さい。

# はじめに

本書は、JobCenter のインストールやバージョンアップ方法などについて説明することを目的としています。なお、本書内に記載されている画面例と実際の画面とは異なることがありますので注意してください。

## • 読み方

JobCenter を新規にインストール、またはバージョンアップされる場合

→ 本書をお読みください。

JobCenter を初めて利用される場合

→ クイックスタート編を目次に従いお読みください。

JobCenter の基本的な操作方法を理解したい場合

→ 基本操作ガイドを目次に従いお読みください。

環境の構築や各種機能の設定を理解したい場合

→ 環境構築ガイドを参照してください。

その他機能についてお知りになりたい場合

→ 関連マニュアルの内容をお読みいただき、目的のマニュアルを参照してください。

## • 凡例

本書内での凡例を紹介します。



: 気をつけて読んでいただきたい内容です。

**注** : 本文中につけた注の説明

**備考** : 本文中の補足説明

     : UNIX 版のインストール画面の説明では、\_\_部分（下線部分）はキーボードからの入力を示します。

## • 関連マニュアル

JobCenter に関するマニュアルです。JobCenter メディア内に格納されています。

最新のマニュアルは、**JobCenter 製品サイトのダウンロードのページ**を参照してください。

URL : <http://www.nec.co.jp/middle/WebSAM/products/JobCenter/download.html>

| 資料名                            | 概 要                                                                                            |
|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| JobCenter インストールガイド            | 本書                                                                                             |
| JobCenter クイックスタート編            | 初めて JobCenter をお使いになる方を対象に、JobCenter の基本的な機能と一通りの操作を説明しています。                                   |
| JobCenter 基本操作ガイド              | JobCenter の基本機能、操作方法について説明しています。                                                               |
| JobCenter 環境構築ガイド              | JobCenter を利用するために必要な環境の構築、環境の移行や他製品との連携などの各種設定方法について説明しています。                                  |
| JobCenter NQS 機能利用の手引き         | JobCenter の基盤である NQS の機能を JobCenter から利用する方法について説明しています。                                       |
| JobCenter クラスタ機能利用の手引き         | クラスタシステムで JobCenter を操作するための連携方法について説明しています。                                                   |
| JobCenter SAP 機能利用の手引き         | JobCenter を SAP と連携させるための方法について説明しています。                                                        |
| JobCenter インポート・エクスポート機能利用の手引き | ユーザ環境のバックアップや環境の移行の際に必要な、JobCenter 上のジョブネットワーク定義、スケジュール定義およびカレンダー定義のインポート・エクスポート機能について説明しています。 |
| JobCenter 操作・実行ログ機能利用の手引き      | JobCenter CL/Win からの操作ログ、ジョブネットワーク実行ログ取得機能および設定方法について説明しています。                                  |
| JobCenter テンプレートガイド            | JobCenter に標準添付されている各種テンプレートの利用方法について説明しています。                                                  |
| JobCenter コマンドリファレンス           | GUI と同様にジョブネットワークの投入、実行状況の参照などをコマンドラインから行うために、JobCenter で用意されているコマンドについて説明しています。               |

## • 改版履歴

| 版 数 | 変更日付       | 項 目  | 形 式 | 変更内容                                                 |
|-----|------------|------|-----|------------------------------------------------------|
| 1   | 2007/06/07 | 新規作成 | —   | 初版                                                   |
| 2   | 2007/10/01 | 追加   | —   | 2.1.1 注意事項の事前確認 の追加                                  |
|     | 2007/10/01 | 追加   | —   | 3. (1) <3>UMS環境を設定する の追加                             |
|     | 2007/10/01 | 追加   | —   | 3. (1) <4> に注意事項の追加                                  |
|     | 2007/10/01 | 追加   | —   | 6 バージョンの確認方法の追加                                      |
| 3   | 2008/01/16 | 修正   | —   | 1.1.2 のSolaris, Linuxの備考を修正                          |
|     | 2008/01/16 | 追加   | —   | 2.1.1 の「Windowsの場合の注意事項」に補足説明および注意事項を追加              |
|     | 2008/01/16 | 追加   | —   | 2.1.3 にホストIDの範囲を追加                                   |
|     | 2008/01/16 | 追加   | —   | 2.4.5 の注意事項に備考を追加                                    |
|     | 2008/01/16 | 修正   | —   | 2.4、2.5 のHP-UXのmount方法の記載変更                          |
| 4   | 2008/01/21 | 修正   | —   | 2.4.5 Windows版 の注意事項からR12.4 に関するターミナルサービス環境での注意事項を削除 |

# 目 次

## 1. JobCenterの動作環境 ..... 8

### 1.1 UNIX版 ..... 9

1.1.1 対応OS、必要メモリ容量 ..... 9

1.1.2 パッケージインストールディレクトリ ..... 10

1.1.3 インストール以外に必要なディスク容量 ..... 11

1.1.4 依存パッケージ ..... 12

### 1.2 Windows版 ..... 13

1.2.1 対応OS、必要メモリ容量 ..... 13

1.2.2 パッケージインストールディレクトリ ..... 14

1.2.3 インストール以外に必要なディスク容量 ..... 14

1.2.4 依存パッケージ ..... 15

## 2. インストール ..... 16

### 2.1 インストールの準備をする ..... 17

2.1.1 注意事項の事前確認 ..... 17

2.1.2 ネットワークを設定する ..... 19

2.1.3 ホストIDを割り当てる ..... 20

### 2.2 LicenseManagerをインストールする ..... 21

2.2.1 HP-UX版 ..... 21

2.2.2 Solaris版 ..... 23

2.2.3 Linux版 ..... 25

2.2.4 AIX版 ..... 26

2.2.5 Windows版 ..... 27

### 2.3 コードワードを登録する ..... 31

2.3.1 コードワードの登録作業 ..... 31

2.3.2 LicenseManagerインストール後に出力されるメッセージ ..... 32

### 2.4 JobCenter MGをインストールする ..... 34

2.4.1 HP-UX版 ..... 34

2.4.2 Solaris版 ..... 35

2.4.3 Linux版 ..... 36

2.4.4 AIX版 ..... 38

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| 2.4.5 Windows版                | 39 |
| 2.5 JobCenter SVをインストールする     | 49 |
| 2.5.1 HP-UX版                  | 49 |
| 2.5.2 Solaris版                | 50 |
| 2.5.3 Linux版                  | 50 |
| 2.5.4 AIX版                    | 50 |
| 2.5.5 Windows版                | 50 |
| 2.6 JobCenter CL/Winをインストールする | 51 |
| 2.6.1 インストールの開始               | 51 |
| 2.6.2 セットアップ画面                | 52 |

### 3. 実行環境のセットアップ (UNIX版) .... 56

## 4. アンインストール..... 63

|                                           |    |
|-------------------------------------------|----|
| 4.1 LicenseManagerをアンインストールする             | 64 |
| 4.1.1 UNIX版                               | 64 |
| 4.1.2 Windows版                            | 65 |
| 4.2 JobCenter MG, JobCenter SVをアンインストールする | 66 |
| 4.2.1 UNIX版                               | 66 |
| 4.2.2 Windows版                            | 67 |
| 4.3 JobCenter CL/Winをアンインストールする           | 68 |
| 4.3.1 パッケージをアンインストールする                    | 68 |
| 4.3.2 レジストリ関連のデータを削除する                    | 68 |

## 5. バージョンアップ..... 69

|                     |    |
|---------------------|----|
| 5.1 UNIX版           | 70 |
| 5.1.1 バージョンアップ      | 70 |
| 5.1.2 NQS関連のデータ引き継ぎ | 71 |
| 5.2 Windows版        | 72 |
| 5.2.1 バージョンアップ      | 72 |
| 5.2.2 NQS関連のデータ引き継ぎ | 73 |

## 6. バージョンの確認方法 ..... 75

### 6.1 UNIX版 ..... 76

#### 6.1.1 JobCenter SV ..... 76

### 6.2 Windows版 ..... 77

#### 6.2.1 JobCenter SV ..... 77

#### 6.2.2 CL/Win ..... 78

## 索引 ..... 79

---

## 1. JobCenter の動作環境

---

JobCenter の動作環境を OS ごとに説明します。

JobCenter MG/SV は、UNIX および Windows で動作します。JobCenter CL/Win は Windows で動作します。

---

1.1 UNIX版

1.2 Windows版



## 1.1 UNIX 版

- 1.1.1 対応OS、必要メモリ容量
- 1.1.2 パッケージインストールディレクトリ
- 1.1.3 インストール以外に必要なディスク容量
- 1.1.4 依存パッケージ

### 1.1.1 対応 OS、必要メモリ容量

JobCenter MG/SV は次の環境で動作します。

#### (1) JobCenter MG/SV の動作環境

| 項 目      | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| OS       | HP-UX 11.0, 11i <sup>注1</sup> , 11iv2(PA-RISC, Itanium) , 11iv3(Itanium) <sup>注5</sup><br>Solaris 2.6, 7, 8, 9, 10<br>AIX 4.2, 4.3, 5.1, 5.2, 5.3 <sup>注2</sup><br>Red Hat Enterprise Linux<br>ES 2.1, AS 2.1, ES3.0, AS3.0, ES 4.0, AS4.0, 5.0 <sup>注4</sup><br>MiracleLinux 2.1, 3, 4 |
| メモリ容量    | 30 MB 以上                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 固定ディスク容量 | 40 MB 以上 <sup>注3</sup>                                                                                                                                                                                                                                                                  |

**注 1.** JFS3.3 を使用している場合は OS のパッチが必要となります。

**注 2.** AIX5.3 において、HACMP クラスタ使用時は、クラスタサイトのみが利用可能です。

**注 3.** JobCenter CJC Option, JobCenter for R/3 Option, JobCenter for BW Option はライセンス製品ですので、インストールは不要です。したがって、これらの製品が HDD ディスク容量を消費することはありません。ただし、JobCenter CJC Option は、クラスタのセットアップ時にクラスタサイトの運用に必要な HDD 容量を共有ディスク上に確保する必要があります。クラスタ環境の詳細については、「JobCenter クラスタ機能利用の手引き」の関連項目を参照してください。

**注 4.** ES 4.0, AS4.0, 5.0 において、IA-32 エミュレーションを行うために、IA-32 Execupion Layer 等のセットアップの手順が必要になります。IA-32 エミュレーション環境の構築手順は、RedHat のリリースノートをご参照ください。

**注 5.** 11iv3(PA-RISC)はサポートしておりません。R12.6.1 より、11iv3(Itanium)をサポートいたします。ただし、11iv3(Itanium)上の JobCenter の動作環境として以下の制限事項があります。制限事項が守られてない環境での動作はサポートしておりませんのでご注意ください。

| 項 目   | 制 限 内 容                                                                                                            |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ユーザ名  | 15 バイト以内に設定してください。                                                                                                 |
| グループ名 | 16 バイト以内に設定してください。                                                                                                 |
| ホスト名  | expanded_node_host_names による 65 バイト以上は非対応                                                                          |
| 対応言語  | 他のプラットフォームと同様に JobCenter が使用する言語として Unicode の言語環境は選択できません。<br><English, EUC, SJIS, Chinese(GB18030)の言語環境に対応しています。> |

### 1.1.2 パッケージインストールディレクトリ

JobCenter パッケージは、デフォルトでは次のディレクトリ配下にインストールされます。この他にジョブデータを保存するためのディスク領域が任意のパーティションに必要になります。

#### (1) HP-UX 版

| インストールディレクトリ  | インストール対象                    |
|---------------|-----------------------------|
| /opt/netshep  | JobCenter 本体                |
| /opt/netatlas | ResourceCenter との共通 GUI 環境部 |

**備考** HP-UX 版で/opt パーティションの空き容量が不足する場合には、他のパーティション上にパッケージ展開用のディレクトリを作成し、上記インストールディレクトリに対してシンボリックリンクを張ることで別パーティション上にインストールできます。

#### (2) Solaris 版

| インストールディレクトリ      | インストール対象          |
|-------------------|-------------------|
| /opt/netshep      | マニュアル、セットアップスクリプト |
| /usr/local/nqs    | JobCenter 本体      |
| /usr/lib/netatlas | GUI 環境部           |

**備考** Solaris 版ではインストール時にディレクトリを指定できません。

#### (3) Linux 版

| インストールディレクトリ        | インストール対象     |
|---------------------|--------------|
| /usr/local/netshep  | JobCenter 本体 |
| /usr/local/netatlas | GUI 環境部      |

**備考** Linux 版ではインストール時にディレクトリを指定できません。

#### (4) AIX 版

| インストールディレクトリ       | インストール対象                |
|--------------------|-------------------------|
| /opt/netshep       | セットアップスクリプト             |
| /usr/lpp/NECSSJBag | JobCenter 本体および GUI 環境部 |

**備考** AIX 版では/usr/lpp 配下にパッケージがインストールされます。

### 1.1.3 インストール以外に必要なディスク容量

---

インストールディレクトリ以外に、定義したジョブのデータや、ジョブの実行結果を記録するためのディスク容量が必要になります。詳細については、「JobCenter 環境構築ガイド 14.3 Disk 使用容量の概算算出方法」を参照してください。

#### (1) スプールディレクトリ (/usr/spool/nqs)

実行中のジョブの定義データや実行結果（ジョブの標準出力、標準エラー出力）が一時的に記録されます。

ジョブの実行結果情報はデフォルトで約 3 日間保存されます。

ジョブに依存しないログファイル、各種定義ファイルなどもスプールディレクトリに作成されます。30MB 以上の容量が必要です。

#### (2) データディレクトリ（各ユーザのホームディレクトリの"NetShepEUI"）

ジョブのスクリプトや、ジョブネットワークのフローの定義、スケジュールの定義などが保存されます。

ジョブの実行結果（ステータス、標準出力、標準エラー出力）も保存されます。ジョブネットワークの実行中には、実行ログや必要なディスク容量は、実行するジョブの量、ジョブの出力する標準出力のサイズ、標準エラー出力のサイズ、それらの実行結果ファイルを保存する期間に依存します。クラスタシステムで共有ディスクを使用した場合、データディレクトリは共有ディスク上の指定したディレクトリ配下にまとめて配置されます。

### 1.1.4 依存パッケージ

#### (1) ライセンスマネージャ (LicenseManager)

JobCenter をインストールするために、事前に次の LicenseManager をインストールする必要があります。

- NECWSLM : LicenseManager



OS が HP-UX 11i v2 for Itanium および AIX の場合は LicenseManager のインストールは不要です。

JobCenter は、LicenseManager を使用してライセンスチェックを行います。

ライセンス解除の手順については、「2.3 コードワードを登録する」を参照してください。

#### (2) C++互換ライブラリ

C++の互換ライブラリを事前にインストールする必要があります。

次のパッケージがインストールされていなければ、インストールしてください。

- compat-libstdc++-7.3-2.96.XXX.i386.rpm



RedHat Linux ES 3 もしくは RedHat Linux AS 3 の場合に必要です。

#### (3) BASECenter と連携

JobCenter を次のパッケージと併用する場合は、事前にそのパッケージをインストールしておく必要があります。

##### <1> JobCenter MG をインストールする場合

- NECSSBSmg : SystemScope/BASECenter(MG)

##### <2> JobCenter SV をインストールする場合

- NECSSBSag : SystemScope/BASECenter(AG)



上記のパッケージがインストールされていない場合、セットアップ時に、SystemScope 関連のファイルの登録が失敗した旨のエラーメッセージが出力されることがあります。ただし、JobCenter の動作には影響はありません。

パッケージのインストール方法については、各プロダクトパッケージに付属のリリースメモを参照してください。

#### (4) IA-64 システム (Itanium ベースのシステム) で IA-32 アプリケーションを動作

32 ビットアプリケーションのランタイム環境をセットアップする必要があるため、IA-32 Execution Layer と 32 ビット互換パッケージをインストールしてください。

詳細については、「2.4.3 Linux版」を参照してください。

## 1.2 Windows 版

- 1.2.1 対応OS、必要メモリ容量
- 1.2.2 パッケージインストールディレクトリ
- 1.2.3 インストール以外に必要なディスク容量
- 1.2.4 依存パッケージ

### 1.2.1 対応 OS、必要メモリ容量

JobCenter MG/SV および JobCenter CL/Win は、それぞれ次の環境で動作します。

#### (1) JobCenter MG/SV の動作環境

| 項 目      | 内 容                                                          |
|----------|--------------------------------------------------------------|
| OS       | Microsoft Windows 2000 Server 日本語版                           |
|          | Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版                     |
|          | Microsoft Windows XP Professional 日本語版                       |
|          | Microsoft Windows Server 2003 日本語版                           |
|          | Microsoft Windows Server 2003 x64 Edition 日本語版               |
|          | Microsoft Windows Server 2003 for Itanium-based Systems 日本語版 |
|          | Microsoft Windows Server 2003 R2 日本語版                        |
|          | Microsoft Windows Server 2003 R2 x64 Edition 日本語版            |
| メモリ容量    | 25MB 以上                                                      |
| 固定ディスク容量 | 25MB 以上 <sup>※</sup>                                         |

#### (2) JobCenter CL/Win の動作環境

| 項 目      | 内 容                                                 |
|----------|-----------------------------------------------------|
| OS       | Microsoft Windows 2000 Server 日本語版                  |
|          | Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版            |
|          | Microsoft Windows XP Professional 日本語版              |
|          | Microsoft Windows Server 2003 日本語版                  |
|          | Microsoft Windows Server 2003 R2 日本語版               |
|          | Microsoft Windows Vista business 日本語版 <sup>※1</sup> |
| メモリ容量    | 15MB 以上                                             |
| 固定ディスク容量 | 15MB 以上 <sup>※2</sup>                               |

**注 1** Vista については JIS90 互換でのみ対応。

**注 2** JobCenter CJC Option はライセンス製品ですので、インストールは不要です。したがって、JobCenter CJC Option が HDD 容量を消費することはありません。  
 ただし、クラスタのセットアップ時にクラスタサイトの運用に必要な HDD 容量を共有ディスク上に確保する必要があります。クラスタ環境の詳細については、「JobCenter クラスタ機能利用の手引き」の関連項目を参照してください。

### 1.2.2 パッケージインストールディレクトリ

JobCenter パッケージは、デフォルトでは次のディレクトリ配下にインストールされます。この他にジョブデータを保存するためのディスク領域が任意のパーティションに必要になります。

| インストールディレクトリ     | インストール対象           |
|------------------|--------------------|
| ¥C:¥JobCenter¥SV | JobCenter MG/SV 本体 |
| ¥C:¥JobCenter¥CL | Windows CL/Win 本体  |

**備考** インストール時にディレクトリを指定できます。

### 1.2.3 インストール以外に必要なディスク容量

インストールディレクトリ以外に、定義したジョブのデータや、ジョブの実行結果を記録するためのディスク容量が必要になります。%InstallDirectory%は JobCenter MG/SV のインストールディレクトリを表します。詳細については、「JobCenter 環境構築ガイド 14.3 Disk 使用容量の概算算出方法」を参照してください。

#### (1) スプールディレクトリ 注

(%InstallDirectory%¥SPOOL, %InstallDirectory%¥NMAP,  
%InstallDirectory%¥log, %InstallDirectory%¥jnwexe¥spool)

実行中のジョブの定義データや実行結果（ジョブの標準出力、標準エラー出力）が一時的に記録されます。

ジョブの実行結果情報はデフォルトで約 3 日間保存されます。

ジョブに依存しないログファイル、各種定義ファイルなどもスプールディレクトリに作成されます。30MB以上の容量が必要です（「(2) データディレクトリ（%InstallDirectory%¥jnwexe¥spool¥ユーザ名）」の容量は含まれていません）。

**注** UNIX 版 JobCenter の/usr/spool/nqs 配下の情報に相当します。JobCenter の管理情報や制御情報、ジョブの実行状況や実行結果の格納場所を総称してスプールディレクトリと呼びます。

#### (2) データディレクトリ（%InstallDirectory%¥jnwexe¥spool¥ユーザ名）

ジョブのスクリプトや、ジョブネットワークのフローの定義、スケジュールの定義などが保存されます。

ジョブの実行結果（ステータス、標準出力、標準エラー出力）も保存されます。ジョブネットワークの実行中には、実行ログや必要なディスク容量は、実行するジョブの量、ジョブの出力する標準出力のサイズ、標準エラー出力のサイズ、それらの実行結果ファイルを保存する期間に依存します。クラスタシステムで共有ディスクを使用した場合、データディレクトリは共有ディスク上の指定したディレクトリ配下にまとめて配置されます。

### 1.2.4 依存パッケージ

---

#### (1) ライセンスマネージャ (LicenseManager(MainPart))

JobCenter をインストールするために、事前に次の LicenseManager をインストールする必要があります。

- LicenseManager(MainPart)



**OS が 64bit 版 Windows Server 2003 の場合は、LicenseManager のインストールは不要です。**

JobCenter は、LicenseManager を使用してライセンスチェックを行います。

ライセンス解除の手順については、「2.3 コードワードを登録する」を参照してください。

## 2. インストール

LicenseManager, JobCenter MG/SV および JobCenter CL/Win のインストール方法を説明します。次の手順に従って作業を行ってください。

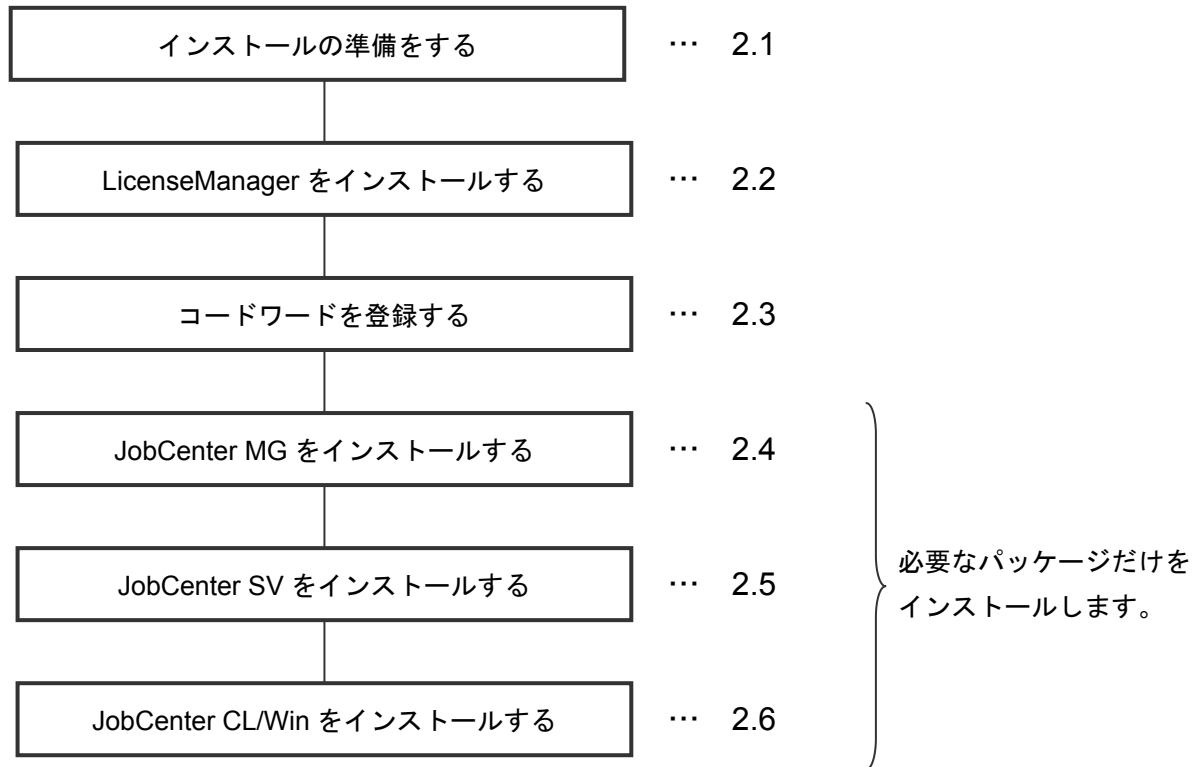


図 2-1 インストールの流れ

- 2.1 インストールの準備をする
- 2.2 LicenseManagerをインストールする
- 2.3 コードワードを登録する
- 2.4 JobCenter MGをインストールする
- 2.5 JobCenter SVをインストールする
- 2.6 JobCenter CL/Winをインストールする



## 2.1 インストールの準備をする

インストールを開始する前に必要な設定を行います。

- 2.1.1 注意事項の事前確認
- 2.1.2 ネットワークを設定する
- 2.1.3 ホストIDを割り当てる

### 2.1.1 注意事項の事前確認

- UNIX の場合の注意事項

JobCenter の NQS 設定でグループに対するキューアクセス制限等を設定する場合は、クラスタサイトを構成する全てのノードで、グループ名と gid も統一する必要があります。

- Windows の場合の注意事項

Windows OS 標準の機能では、ユーザアカウント作成時に任意の uid を指定することができません。また、uid の変更もできないため、インストール前に調整する必要があります。

ドメイン環境の場合、ドメインユーザの uid はドメイン参加マシン間で一意に決まりますので、クラスタ環境を構築される場合は、ドメイン環境で構築し、ドメインユーザによる運用をお奨めします。（この場合、JobCenter 管理者もドメインユーザである必要があります。）

クラスタサイトを構成する全てのノードで、同じユーザをJobCenter管理者としてセットアップする必要があります。本ガイド「2.4.5 Windows版」の「一般的な注意事項」に記載の通り、当該ノードにおいてローカル管理者権限が必要となります。

クラスタサイトとローカルサイトを同時に動作させる場合、ローカルサイトの JobCenter 管理者がクラスタサイトの JobCenter 管理者となりますので、事前に十分検討のうえ、インストールしてください。

ドメイン環境の場合、クラスタサイトを構成するノードの組み合わせに制限があります。PDC とメンバサーバ、BDC とメンバサーバの組み合わせはできません。

JobCenter の使用するディレクトリがウィルススキャンのオンアクセススキャンの対象になっている場合、ジョブの実行が正常に行えない場合があります。そのため、JobCenter の使用するディレクトリ（インストールディレクトリと<Documents and Settings>ディレクトリ<sup>注1</sup>）をオンアクセススキャンの対象外にして下さい。

**注 1.** <Documents and Settings>ディレクトリ全体ではなく、JobCenter で利用するユーザの Documents and Settings¥<USER>¥NTUSER.DAT Documents and Settings¥<USER>¥ntuser.dat.LOG をオンアクセススキャンの対象外と設定範囲を絞ることも可能です。

JobCenter をインストール／運用するためには、Server サービスが起動している必要があります。

[スタート] - [ファイル名を指定して実行] を選択し、[services.msc] を実行します。[サービス] ダイアログが表示されますので、Server サービスの状態が「開始」、スタートアップの種類が「自動」であることを確認してください。（デフォルトでは「開始、自動」の設定になっています。）

JobCenter をインストール／運用するためには、JobCenter が使用するネットワークのプロパティにて「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」のチェックが ON になっている必要があります。（デフォルトでは ON の設定になっています。）

- クラスタ環境の場合の注意事項

JobCenter をクラスタ環境にインストールする場合は、クラスタサイトを構成する全てのノードで、ユーザ名と uid を統一する必要があります。

### 2.1.2 ネットワークを設定する

JobCenter は、TCP/IP ネットワークの設定が正しく行われていることを前提として動作します。マシンの正式ホスト名から IP アドレスを求め、その IP アドレスから得られたホスト名が正式ホスト名に一致していない場合、JobCenter は動作できません。このチェックはドメインの有無まで行いますので、正確に一致するように設定してください。

複数のマシンで JobCenter を運用する場合、すべてのマシンでホスト名や IP アドレスのデータが一致している必要があります。hosts ファイルの更新漏れなどがないように十分に注意してください。

また、CJC オプションを使用しないで複数のネットワークカードが実装されている場合、最も優先されるネットワークカード上で動作します。たとえば、UNIX 環境の場合、hostname コマンドで返却されるホスト名を使って JobCenter は動作します。



**複数のネットワークカードに対して、同じホスト名や IP アドレスを割り当てられている場合、インストールや初期設定が行えることがありますが、誤動作の原因になりますので、インストールや初期設定は行わないでください。**

ネットワークの設定の詳細については、「JobCenter 環境構築ガイド 2. ネットワーク環境構築」を参照してください。

ネットワークを設定する際には、次の事項に注意してください。

- ◆ ホスト名の名前解決において、正引／逆引が行えること。
- ◆ 正引／逆引で、エイリアスではなくホストの正式名が一致すること。
- ◆ 複数のネットワークカードを実装している場合、個々のネットワークカードに一意のホスト名／IP アドレスが割り当てられていること。
- ◆ JobCenter の連携を行うホスト間で、ホスト名／IP アドレスのデータが一致していること。
- ◆ JobCenter がセットアップされるホスト間にファイアウォールが存在する場合、ファイアウォールに対して JobCenter が使用するネットワークポートの穴あけ作業をすること。
- ◆ Windows XP Professional (Service Pack 2 以上) および Windows Server 2003 SP1 に JobCenter MG/SV をセットアップした場合、Windows ファイアウォールの例外設定を行うこと。  
ファイアウォールの例外設定を行う際のポート番号については、「JobCenter 環境構築ガイド 2.1 JobCenter で使用する TCP ポート」を参照してください。

### 2.1.3 ホスト ID を割り当てる

---

JobCenter では、インストール時にそのシステム内で一意となるホスト ID を割り当てる必要があります。ホスト ID の範囲は 1～2147483647 です。ホスト ID を割り当てる際には、次の事項に注意してください。

- ◆ 複数のマシンで JobCenter を使う場合には、ホスト ID が重複しないこと。  
たとえば、UNIX のマネージャマシンから複数の Windows のサーバマシンへ単位ジョブの転送を行う場合などで、ホスト ID が重複していると正常に動作できません。ローカルサイトとクラスタサイト間でも重複することはできません。
- ◆ 設定後にホスト ID を変更しないように最初に運用ルールを決めておくこと。  
各マシンは別マシンのホスト ID も保持しています。この各マシンの持つホスト ID の情報が一致していないと予期せぬ動作になる場合があります。設定後にホスト ID を変更した場合、一部のマシンに更新漏れなどがあると誤動作の原因になります。

## 2.2 LicenseManager をインストールする

LicenseManager はライセンス管理用製品です。  
JobCenter は、LicenseManager を使用してライセンスチェックを行います。  
JobCenter 製品をインストールする前に、LicenseManager をインストールしてください。  
OS が HP-UX 11i v2 for Itanium, AIX および 64bit 版 Windows Server 2003 の場合は、LicenseManager のインストールは不要です。  
詳細については、「LicenseManager リリースメモ」を参照してください。

- 2.2.1 HP-UX版
- 2.2.2 Solaris版
- 2.2.3 Linux版
- 2.2.4 AIX版
- 2.2.5 Windows版

### 2.2.1 HP-UX 版

#### (1) 必要メモリ容量

LicenseManager をインストールし、動作させるには次の固定ディスク容量および使用メモリ容量が必要です。

表 2-1 LicenseManager のインストールに必要な固定ディスクとメモリの容量（HP-UX 版）

| 固定ディスク容量    | メモリ容量 |
|-------------|-------|
| /opt : 1 MB | 3 MB  |
| /etc : 1 MB |       |
| /usr : 1 MB |       |

#### (2) LicenseManager のインストール

LicenseManager をインストールするには、次に示す手順で行います。

- <1> LicenseManager の確認
- <2> LicenseManager のインストール

次に、LicenseManager のインストール作業の具体的な手順を説明します。

### <1> LicenseManager の確認

- ① マシンを立ち上げ、ログイン名「root」でログインします。

```
login:root ↵
```

- ② LicenseManager のインストールを行う前に、LicenseManager がすでにインストールされていないかどうかを確認します。

```
root> swlist NECWSLM ↵
```

- 次のように表示された場合、LicenseManager をインストールする必要はありません。  
< LicenseManager パッケージがすでにインストールされている場合>

```
# NECWSLM 1.3.00 WebSAM LicenseManager  
NECWSLM.NECWSNLESD 1.3.00 WebSAM LicenseManager
```

- 次のように表示された場合は、引き続き LicenseManager のインストールを行います。  
<LicenseManager パッケージがインストールされていない場合>

```
Software "NECWSLM" was not found on host "hostname:/".
```

### <2> LicenseManager のインストール

LicenseManager は JobCenter のメディアに同梱されています。次の手順に従って、インストールしてください。

- ① JobCenter のメディアから、/tmp 配下にパッケージファイルをコピーしたと仮定します。  
ファイル名は、/tmp/WSLM とします。
- ② 次のコマンドによりインストールを実行します。

```
root> swinstall -s /tmp/WSLM NECWSLM ↵
```

インストール実行中にメッセージが表示されますが、エラー表示がなければ、インストールは正常に終了します。

- ③ 次のコマンドによりインストール結果を確認します。

```
root > swlist NECWSLM ↵
```

- 次のように表示されればインストールは正常に終了しています。

```
# NECWSLM 1.3.00 WebSAM LicenseManager  
NECWSLM.NECWSNLESD 1.3.00 WebSAM LicenseManager
```

## 2.2.2 Solaris 版

### (1) 必要メモリ容量

LicenseManager をインストールし、動作させるには次の固定ディスク容量および使用メモリ容量が必要です。

表 2-2 LicenseManager のインストールに必要な固定ディスクとメモリの容量 (Solaris 版)

| 固定ディスク容量    | メモリ容量 |
|-------------|-------|
| /opt : 1 MB | 3 MB  |
| /etc : 1 MB |       |
| /usr : 1 MB |       |

### (2) LicenseManager のインストール

LicenseManager をインストールするには、次に示す手順で行います。

<1> LicenseManager の確認

<2> LicenseManager のインストール

次に、LicenseManager のインストール作業の具体的な手順を説明します。

#### <1> LicenseManager の確認

- ① マシンを立ち上げ、ログイン名「root」でログインします。

```
login:root ↵
```

- ② LicenseManager のインストールを行う前に、LicenseManager がすでにインストールされていないかどうかを確認します。

```
root> pkginfo NECWSLM ↵
```

- 次のように表示された場合、LicenseManager をインストールする必要はありません。  
<LicenseManager がすでにインストールされている場合>

```
application NECWSLM WebSAM License Manager
```

- 次のように表示された場合は、引き続き LicenseManager のインストールを行います。  
<LicenseManager がインストールされていない場合>

```
ERROR: information for "NECWSLM" was not found
```

### <2> LicenseManager のインストール

LicenseManagerはJobCenterのメディアに同梱されています。次の手順に従って、インストールしてください。

- ① JobCenter のメディアから、/tmp 配下にパッケージファイルをコピーしたと仮定します。  
ファイル名は、/tmp/WSLM とします。
- ② 次のコマンドによりインストールを実行します。

```
root> pkgadd -d /tmp/WSLM NECWSLM ↵
```

インストール実行中にメッセージが表示されますが、エラー表示がなければ、インストールは正常に終了しています。

- ③ 次のコマンドによりインストール結果を確認します。

```
root > pkginfo -l NECWSLM ↵
```

- STATUS: の項が次の表示になっていればインストールは正常に終了しています。

```
completely installed
```



2.2.3 Linux 版

(1) 必要メモリ容量

LicenseManager をインストールし、動作させるには次の固定ディスク容量および使用メモリ容量が必要です。

表 2-3 LicenseManager のインストールに必要な固定ディスクとメモリの容量 (Linux 版)

| 固定ディスク容量    | メモリ容量 |
|-------------|-------|
| /opt : 1 MB | 1 MB  |
| /etc : 1 MB |       |
| /usr : 1 MB |       |

(2) LicenseManager のインストール

LicenseManager をインストールするには、次に示す手順で行います。

- <1> LicenseManager の確認
- <2> LicenseManager のインストール

次に、LicenseManager のインストール作業の具体的な手順を説明します。

<1> LicenseManager の確認

- ① マシンを立ち上げ、ログイン名「root」でログインします。

```
login:root ↵
```

- ② LicenseManager のインストールを行う前に、LicenseManager がすでにインストールされていないかどうかを確認します。

```
root> rpm -qa NECWSLM ↵
```

- 次のように表示された場合、LicenseManager をインストールする必要はありません。  
<LicenseManager がすでにインストールされている場合>

```
NECWSLM-1.3.00-1
```

- 何も表示されなかった場合、LicenseManager はインストールされていません。引き続き LicenseManager のインストールを行います。

### <2> LicenseManager のインストール

LicenseManagerはJobCenterのメディアに同梱されています。次の手順に従って、インストールしてください。

- ① JobCenter のメディアから、/tmp 配下にパッケージファイルをコピーしたと仮定します。  
ファイル名は、/tmp/WSLM とします。
- ② 次のコマンドによりインストールを実行します。

```
root> rpm -i /tmp/WSLM ↵
```

- 次のメッセージが表示されれば、インストールは正常に終了しています。

```
***** now installing *****  
Installation was successful.
```

- ③ 次のコマンドによりインストール結果を確認します。

```
root > rpm -qa NECWSLM ↵
```

- 次のように表示されればインストールは正常に終了しています。

```
NECWSLM-1.3.00-1
```

## 2.2.4 AIX 版

LicenseManager のインストールは必要ありません。

## 2.2.5 Windows 版

### (1) 必要メモリ容量

LicenseManager をインストールし、動作させるには次の固定ディスク容量および使用メモリ容量が必要です。

表 2-4 LicenseManager のインストールに必要な固定ディスクとメモリの容量 (Windows 版)

| 固定ディスク容量 | メモリ容量 |
|----------|-------|
| 1 MB     | 2 MB  |

### (2) LicenseManager のインストール

LicenseManager をインストールするには、次に示す手順で行います。

<1> LicenseManager の確認

<2> LicenseManager のインストール

次に、LicenseManager のインストール作業の具体的な手順を説明します。

#### <1> LicenseManager の確認

- ① マシンを立ち上げ、Administrator 権限のあるユーザでログインします。
- ② LicenseManager のインストールを行う前に、LicenseManager がすでにインストールされていないかどうかを確認します。
- ③ Windows の [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] でコントロールパネルを表示させます。  
[プログラムの追加と削除]画面で[WebSAM LicenseManager(MainPart)]のエントリがないことを確認します。

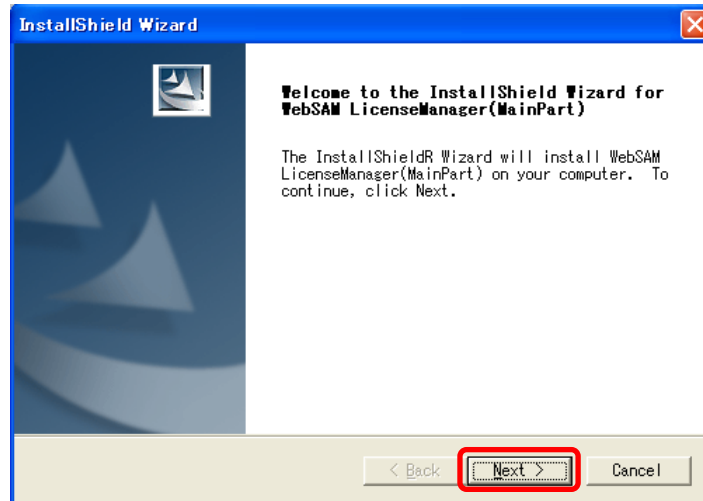
LicenseManager がすでに存在していた場合は、インストールの必要はありません。

#### <2> LicenseManager(MainPart)のインストール

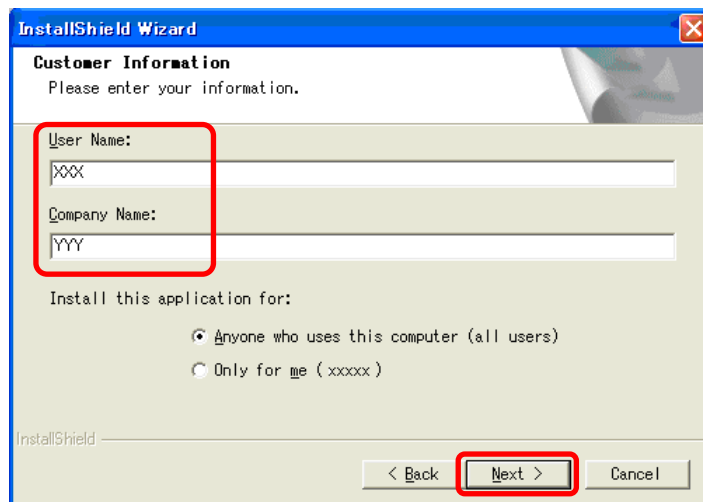
LicenseManager は JobCenter のメディアに同梱されています。次の手順に従って、インストールしてください。

- ① JobCenter のメディアから、パッケージファイルをローカルディスク上にコピーします。  
ここでは、C:\¥setup.exe にコピーします。
- ② コピーした setup.exe ファイルを実行し、LicenseManager のインストーラを起動します。

- ③ 次のような画面が表示されますので、[Next>] ボタンをクリックします。

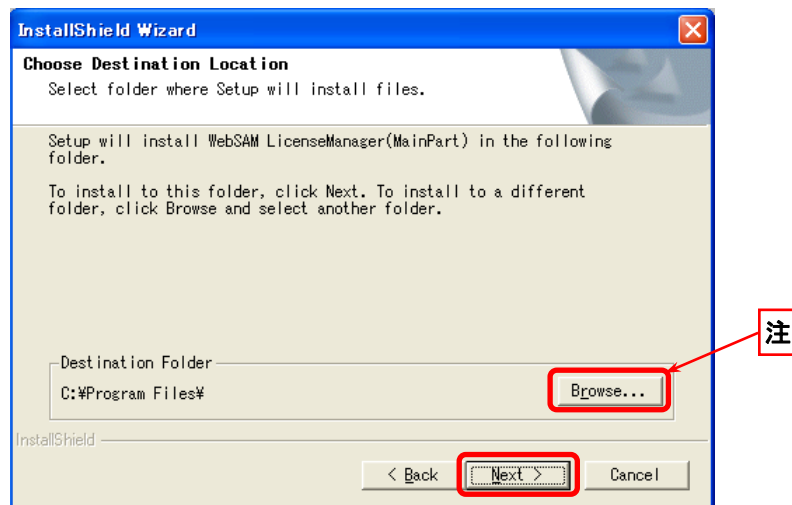


- ④ 「Customer Information」画面が表示されます。「User Name」と「Company Name」にはシステムに登録されている既定値が表示されます。必要に応じて変更し、[Next>] ボタンをクリックします。



- ⑤ 「Choose Destination Location」画面が表示されます。

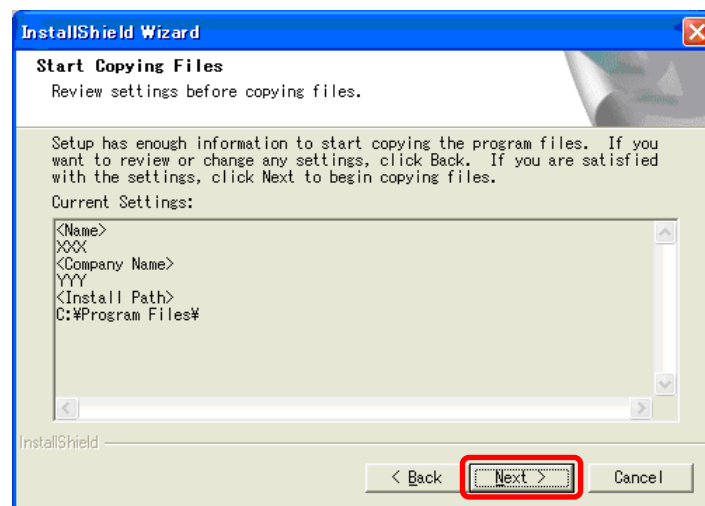
インストール先のフォルダを決定後、[Next>] ボタンをクリックします。



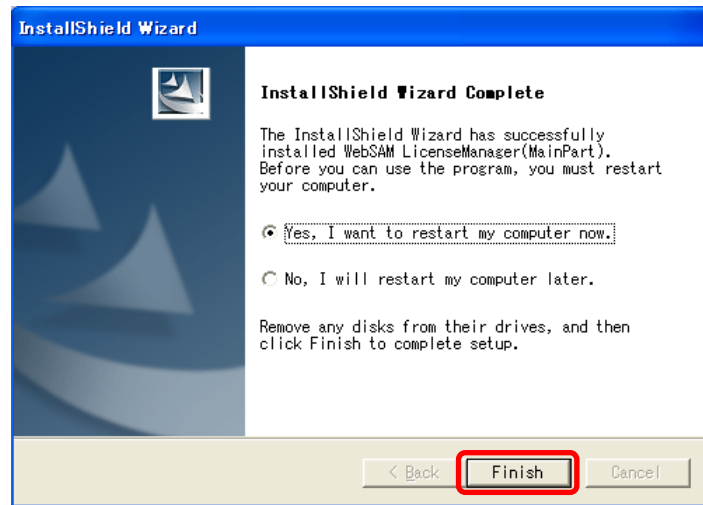
**注** 既定のインストール先フォルダを変更する場合には、[Browse...] ボタンをクリックして、表示された画面の指示に従ってインストール先のフォルダを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

- ⑥ 確認画面が表示されますので、ここまで設定した内容を確認します。

設定が完了したら [Next>] ボタンをクリックします。設定内容を変更する場合は、[< Back] ボタンをクリックし各項目の画面まで戻って設定をやり直します。



- ⑦ すべてのインストールが完了すると次の画面が表示されます。  
[Finish] ボタンをクリックしてシステムを再起動します。



**備考** すぐに再起動を実施しない場合は、「No, I will restart...」のラジオボタンをアクティブにし、[Finish] ボタンをクリックします。

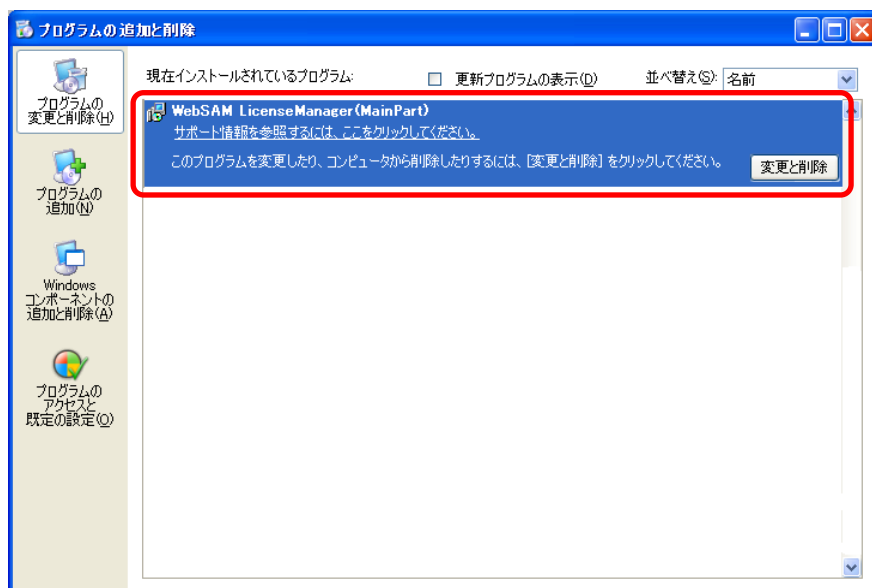


**JobCenter** プロダクトをインストールする以前に、必ずシステムを再起動してください。

ここまでで、「LicenseManager(Main Part)」のインストール作業は完了です。

次に、インストールが正常に終了したかを確認します。

- ⑧ Windows の [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] で「プログラムの追加と削除」を実行します。  
次の画面例のように「WebSAM LicenseManager(Main Part)」のエントリが表示されていれば正常に終了しています。



## 2.3 コードワードを登録する

LicenseManager のインストールが終了したあとで、JobCenter をセットアップする前に、ライセンス解除のためのコードワードの登録を行います。

### 2.3.1 コードワードの登録作業

#### 2.3.2 LicenseManagerインストール後に出力されるメッセージ

### 2.3.1 コードワードの登録作業

次のファイルに対して、コードワードの登録を行います。

- UNIX の場合 :        /etc/opt/wsnlesd/.lockinfo
- Windows の場合 :    %InstallDerectory%¥wsnlesd¥etc¥opt¥wsnlesd¥lockinfo

**備考** %InstallDerectory%は LicenseManager をインストールしたディレクトリを示します。デフォルトは OS をインストールしたドライブの¥Program Files です。

OS が HP-UX 11i v2 for Itanium, AIX および 64bit 版 Windows Server 2003 の場合は、LicenseManager のインストールは不要ですので、コードワードの登録のみ行います。.lockinfo (lockinfo) ファイルを保存するディレクトリ (上記) と.lockinfo (lockinfo) ファイルは手動で作成してください。

それぞれの.lockinfo (lockinfo) ファイルに「型番 コードワード」の形式で登録します。次の例のように、型番とコードワードの間は 1 個以上のスペースまたはタブで区切ってください。

#### [.lockinfo (lockinfo) ファイルへの登録例]

```
UQ4322-H0C4A1 reYrD4Eyh0Viab9BCPnw0RzmlG76acjKHRV9Vp%Yyr0l
UQ4370-H0C1B1 u4v%daE6VNGKk2VdrS50yQwuofQCbb0#lSUVDqv4Pi8z
UQ4343-H0C1A1 Ses3s1VedNUShcoJkYR46MjqHDTKpdj#dQXZEvtMvrxz
... ..
```

**備考** コードワードの登録を行わない場合でも、お試し期間の 60 日間は JobCenter を使用することが可能です。

コードワードを登録したあと、次のコマンドでライセンスロックが正しく解除されているかどうかを確認します。

- UNIX の場合 :        /opt/wsnlesd/bin/wsnlesd -p 型番
- Windows の場合 :    %InstallDerectory%¥wsnlesd¥bin¥wsnlesd -p 型番

**備考** OS が HP-UX 11i v2 for Itanium, AIX および 64bit 版 Windows Server 2003 の場合は、確認作業は不要です。JobCenter が正常に起動し、動作していれば問題ありません。

コマンドの実行結果は次のように表示されます。

表 2-5 wsnlesd -p 型番 コマンドの実行結果

| 表 示   | 登録結果   |
|-------|--------|
| 型番 “” | 正常     |
| Error | 異常     |
| TRIAL | お試し期間中 |

「Error」が表示された場合、コードワードが正しく登録されていません。その型番についてのコードワードの登録状況を再度確認して、コードワードを登録してください。

また、「TRIAL」と表示された場合、お試し期間以後は現在のライセンスは無効となります。

### 2.3.2 LicenseManager インストール後に出力されるメッセージ

LicenseManager インストール後、次のようなメッセージが syslog（Windows の場合はイベントログ）に出力される場合があります。

- UNIX の場合  
日付 時刻 ホスト名 wsnlesd: The license of this 型番-\* is invalidated on YYYY/MM/DD. <sup>注1</sup>
- Windows の場合  
The license of this 型番-\* is invalidated on YYYY/MM/DD.

**注 1.** 「型番-\*」の記述は、例えば「UW0312-H2NA00」といった製品型番の「-」よりも前の記載部分を示しています。メッセージには「UW0312-\*」などと表示されます。

上記メッセージは「型番-\*」の製品がお試し期間に入っていることおよびその有効期限を示すメッセージです。これらは、コードワードが登録されていない JobCenter 製品の型番ごとに出力され、当該型番「型番-\*」のコードワードが正しく登録されていれば出力されません。

ライセンス登録後に上記メッセージが出力される場合、出力されたメッセージの型番部分を確認し、.lockinfo (lockinfo) ファイルに登録したコードワードの型番に該当するかどうかを確認してください。

#### ◆ 登録済みの型番について上記メッセージが出力された場合

コードワードが正しく設定されていない可能性がありますので、再度コードワードの登録状態を確認してください。

#### ◆ 出力されたすべてのメッセージの「型番-\*」が、登録したコードワードの型番に該当しない場合

メッセージは無視してかまいません。登録されたコードワードにより、ライセンスは解除されます。このメッセージは、メッセージ中に明示された有効期限が過ぎると出力されなくなります。



.locinfo (lockinfo) ファイルに次のコードワードが登録されている場合の例を示します。

(例)

- 登録されている型番

```
UW0312-H2NA00 reYrD4Eyh0Viab9BCPnw0RzmlG76acjKHRV9Vp%Yyr0l
```

次のようなメッセージが syslog に出力されます。

```
Mar 1 15:35:02 shaker wsnlesd: The license of this UQ4321-* is invalidated  
on 2005/04/30.  
Mar 1 15:35:02 shaker wsnlesd: The license of this UQ4322-* is invalidated  
on 2005/04/30.
```

しかし、出力されたメッセージは登録した「UW0312-\*」以外の型番に関するものであるため、このメッセージは無視してかまいません。「UW0312-\*」についてはライセンス解除されているため、JobCenter は問題なく起動します。

## 2.4 JobCenter MG をインストールする

JobCenter MG のインストール方法を説明します。



1 台のマシンに JobCenter MG と JobCenter SV をインストールする場合には、パッケージのインストールは JobCenter MG だけ行います。ただし、コードワードの登録は JobCenter MG と JobCenter SV の 2 つ分必要です。

- 2.4.1 HP-UX版
- 2.4.2 Solaris版
- 2.4.3 Linux版
- 2.4.4 AIX版
- 2.4.5 Windows版

### 2.4.1 HP-UX 版

- ① JobCenter メディア（CD-ROM）をセットします。

JobCenter メディアは RockRidge 形式で作成されていますので、HP-UX で CD-ROM をマウントする際は、次のように mount でマウントします。

- root ユーザでログインし、ioscan コマンドにてデバイス名の確認を行ってください。

```
/usr/sbin/ioscan -fnu -Cdisk
```

- JobCenter メディア（CD-ROM）をセットし、次のコマンドを実行します。

```
/usr/sbin/mount -F cdfs -o rr <device-name> <mount-point>
```

マウントポイント（<mount-point>）およびデバイス名（<device-name>）はシステムにあわせて変更してください。

- ② 次のコマンドを実行してインストールします。

```
/usr/sbin/swinstall -s <HP_PRODUCT_PATH> NECSSJBmg
```

**備考** <HP\_PRODUCT\_PATH>はプロダクトのファイルパスです。実際の入力値は、JobCenter メディアのリリースメモ（RELMemo）を参照してください。

- ③ コマンド実行後にエラーがなければ、インストーラは次のメッセージを表示します。インストールは正常に終了しています。

```
* Execution succeeded
```

エラーなどによりインストールが失敗した場合には、インストーラのログファイルを参照し、インストールに失敗した理由を取り除いてください。

インストーラのエラーについては「HP-UX のマニュアル」を参照してください。

- ④ インストール正常終了後、「3. 実行環境のセットアップ（UNIX版）」へ進んでください。

### 2.4.2 Solaris 版

- ① JobCenter メディア（CD-ROM）をセットします。
- ② 次のコマンドを実行してインストールを行います。

```
pkgadd -d <SUN_PRODUCT_PATH>
```

**備考** <SUN\_PRODUCT\_PATH>は、プロダクトのファイルパスです。実際の入力値は、JobCenter メディアのリリースメモ（RELMEMO）を参照してください。

- ③ コマンド実行後、システムは JobCenter がインストール可能であることを次のように表示し、入力待ちの状態となります。

```
The following packages are available:
1 NECSSJBag JobCenter
(Solaris(Sparc)) Release 12.6
2 NECSSJBmg JobCenter Manager
(Solaris(Sparc)) Release 12.6

Select package(s) you wish to process (or 'all' to process all packages).
(default: all) [?,??,q]:
```

- ④ パッケージのインストールを行う場合には、「2」を選択し、リターンキーを押します。  
以降はインストーラの指示に従ってインストールを行います。

エラーなどによりインストールが失敗した場合には、インストーラのログファイルを参照し、インストールに失敗した理由を取り除いてください。

- ⑤ インストール正常終了後、「3. 実行環境のセットアップ（UNIX版）」へ進んでください。

### 2.4.3 Linux 版

Linux 版の JobCenter MG のインストール手順を示します。

JobCenter MG と SV は同一のパッケージになっています。また、インストール手順も同じですので、JobCenter SV のインストールを行う場合も、JobCenter MG のインストール手順に従ってください。



**JobCenter MG はインストール後、JobCenter SV として表示されますので注意してください。**

#### (1) RedHat 版

##### <1> IA-32 Execution Layer/ 32-bit Compatibility Layer のインストール (IA-64 システムのみ)

IA-64 システム (Itanium ベースのシステム) 上で、IA-32 アプリケーションを動作させる場合、32 ビットアプリケーションのランタイム環境のセットアップが必要です。

このためには、IA-32 Execution Layer と 32 ビット互換パッケージのインストールが必要です。次の手順に従ってインストールを行ってください。

##### • Red Hat での IA-32 Execution Layer のインストール

- ① X 端末で、当該システムに root 権限でログインします。
- ② Red Hat Enterprise Linux Extras の CD-ROM をセットし、mount します。
- ③ CD-ROM 上の autorun を実行します。
- ④ GUI 画面から、「進む」を選択し、「パッケージの追加と削除」画面で「Misc」を選択して、「進む」ボタンをクリックします。これにより、IA-32 Execution Layer (ia32el パッケージと ksh パッケージ) がインストールされます。
- ⑤ umount 後に CD-ROM を取り出します。

##### • Red Hat での 32 ビット互換パッケージのインストール

- ① X 端末で、当該システムに root 権限でログインします。
- ② Red Hat Enterprise Linux 32-bit Compatibility Layer の CD-ROM をセットし、mount します。
- ③ CD-ROM 上の autorun を実行します。
- ④ GUI 画面から、「進む」を選択し、「パッケージの追加と削除」画面で、「互換アーキテクチャのサポート」を選択し (すべてのパッケージをインストールします)、「進む」ボタンをクリックします。これにより互換パッケージがインストールされます。
- ⑤ umount 後に CD-ROM を取り出します。

**<2> 互換ライブラリのインストール（RedHat Linux ES 3 または RedHat Linux AS3 の場合）**

RedHat Linux ES 3 もしくは RedHat Linux AS 3 の場合、次の C++の互換ライブラリをあらかじめインストールする必要があります。

```
compat-libstdc++-7.3-2.96.XXX.i386.rpm
```

パッケージがインストールされていない場合は、OS のメディアからインストールしてください。

**<3> JobCenter のインストール**

① JobCenter メディア（CD-ROM）をセットします。

② 次のコマンドを実行してインストールを行います。

```
> rpm -i <LINUX_PRODUCT_PATH>
```

**備考** <LINUX\_PRODUCT\_PATH>は、プロダクトのファイルパスです。実際の入力値は、JobCenter メディアのリリースメモ（RELMEMO）を参照してください。

コマンド実行後、エラーメッセージが表示されなければインストールは完了です。

エラーなどによりインストールが失敗した場合には、インストーラのログファイルを参照し、インストールに失敗した理由を取り除いてください。

③ インストールが正常終了後、「3. 実行環境のセットアップ（UNIX版）」へ進んでください。

**(2) Miracle Linux 版**

① JobCenter メディア（CD-ROM）をセットします。

② 次のコマンドを実行してインストールします。

```
> rpm -i <LINUX_PRODUCT_PATH>
```

**備考** <LINUX\_PRODUCT\_PATH>は、プロダクトのファイルパスです。実際の入力値は、JobCenter メディアのリリースメモ（RELMEMO）を参照してください。

コマンド実行後、エラーメッセージが表示されなければインストールは完了です。

エラーなどによりインストールが失敗した場合には、インストーラのログファイルを参照し、インストールに失敗した理由を取り除いてください。

③ インストールが正常終了後、「3. 実行環境のセットアップ（UNIX版）」へ進んでください。

### 2.4.4 AIX 版

AIX 版の JobCenter MG のインストール手順を示します。

JobCenter MG と SV は同一のパッケージになっています。また、インストール手順も同じですので、JobCenter SV のインストールを行う場合も、JobCenter MG のインストール手順に従ってください。

なお、AIX 版パッケージのインストール AIX 版パッケージはメディアの媒体から直接インストールすることができません。



**JobCenter MG はインストール後、JobCenter SV として表示されますので注意してください。**

- ① JobCenter メディア（CD-ROM）をセットします。
- ② 次のコマンドで、JobCenter のメディアと toc（Table of contents）ファイルを適当なディレクトリに展開します。

```
> cd <パッケージを展開するディレクトリ>  
> tar xvf <AIX_PRODUCT_PATH>
```

**備考** <AIX\_PRODUCT\_PATH>は、プロダクトのファイルパスです。実際の入力値は、JobCenter メディアのリリースメモ（RELMEMO）を参照してください。

- ③ 2つのファイルが展開されます。

```
.toc  
NECSSJBag
```

- ④ ①と同じディレクトリに、次のコマンドを実行してインストールします。

```
> /usr/sbin/installp -a -d. NECSSJBag
```

- ⑤ コマンド実行後エラーがなければ、インストーラは次のようなメッセージを表示します。

```
NECSSJBag.man 12.6.0.0 USR APPLY SUCCESS  
NECSSJBag.gui 12.6.0.0 USR APPLY SUCCESS  
NECSSJBag.base 12.6.0.0 USR APPLY SUCCESS  
NECSSJBag.base 12.6.0.0 ROOT APPLY SUCCESS
```

エラーなどによりインストールが失敗した場合には、インストーラのログファイルを参照し、インストールに失敗した理由を取り除いてください。

- ⑥ インストールが正常終了後、「3. 実行環境のセットアップ（UNIX版）」へ進んでください。

## 2.4.5 Windows 版

Windows 版の JobCenter MG のインストール手順を示します。

JobCenter MG と JobCenter SV は同一のパッケージになっています。また、インストール手順も同じです。JobCenter SV のインストールを行う場合も、JobCenter MG のインストール手順に従ってください。Windows 版の場合はインストールとセットアップは一連の流れで行われます。

インストールを始める前に、次に挙げる注意事項を確認してください。

### ◆ 一般的な注意事項

インストールを円滑に行うためにインストール前に、動作中のすべてのアプリケーションを終了してください。

インストール先のマシンに、ローカルの Administrators グループに所属するユーザでログインしてください。ドメイン環境でセットアップする場合も、ローカルの Administrators グループに所属するユーザでログインしてから作業を行ってください。

### ◆ 環境変数に関する注意事項

環境変数 NQS\_SITE が設定されていると、正常にセットアップが実行できません。

事前に NQS\_SITE の設定の有無を確認して、設定されていた場合は削除してからインストールしてください。

### ◆ Windows XP Professional マシンに JobCenter をインストールする際の注意事項

次の①と②の条件を必ず同時に満たしてください。

- ① Windows XP Professional へのログインユーザが「Administrators」グループに所属していること。

- ② 次の (a) ～ (c) のどれか 1 つが設定されていること。

- (a) 対象の Windows XP Professional マシンが「ドメイン環境」である。

- (b) Windows XP Professional へのログインユーザに次の設定がされている。

ポリシー「ネットワークアクセス：ローカルアカウントの共有とセキュリティモデル」のセキュリティの設定が「クラシック：ローカルユーザをローカルユーザとして認証する」である。

**備考** [スタート] - [ファイル名を指定して実行] を選択し、[secpol.msc] を実行します。[ローカル セキュリティ設定] ダイアログが表示されますので、右ペインのツリーより、[セキュリティの設定] - [ローカル ポリシー] - [セキュリティ オプション] のツリーアイコンを選択してポリシーを表示します。

- (c) 「guest」アカウントにポリシー「ネットワーク経由でコンピュータへアクセスを拒否する」の権限が付与されていない。

**備考** [スタート] - [ファイル名を指定して実行] を選択し、[secpol.msc] を実行します。[ローカル セキュリティ設定] ダイアログが表示されますので、右ペインのツリーより、[セキュリティの設定] - [ローカル ポリシー] - [ユーザ権利の割り当て] のツリーアイコンを選択してポリシーを表示します。

#### ◆ JobCenter (SV/NT) R4.1 以前のバージョンをインストールしている場合の注意事項

JobCenter (SV/NT) R4.1 以前のバージョンをインストールしている場合は、あらかじめアンインストールする必要があります。

JobCenter (SV/NT) R4.1 以前のバージョンのアンインストールは、インストールしたときの CD-ROM をマシンの CD-ROM 装置にセットし、Windows の [スタート] - [ファイル名を指定して実行] を選択します。次のファイル名を指定して、[OK] ボタンを選択します。

- Q:¥PRODUCT¥WIN¥JB\_SV¥DISK1¥SVUNINST.EXE

**備考** ここでは、CD-ROM ドライブを Q: ドライブとして説明します。CD-ROM ドライブを他のドライブ名に割り当てている場合は、適宜読み替えてください。

#### ◆ MSCS クラスタ環境の場合の注意事項

MSCS クラスタ環境にて前のバージョンを削除して新しいバージョンをインストールする際に、特別な手順で行う必要があります。詳細については、次のマニュアルを参照してください。

- MSCS 環境におけるバージョンアップ手順
- MSCS 環境におけるバージョンアップ手順 (IPF 版)

**備考** 上記マニュアルは保守契約に基づき提供されます。必要の際は、保守窓口にお問い合わせのうえ、入手してください。

#### ◆ クラスタ環境を構築予定の場合の注意事項

JobCenter 管理者ユーザ以外のユーザでのジョブ運用を行う場合には基本的にドメイン環境が必要となります。(クラスタ環境ではユーザを識別する UID を各ノード上で同じ数値にする必要がありますが、ドメイン環境でないと一般的に同じ数値にならないため。)

JobCenter 管理者ユーザは UID が必ず 0 になるため、JobCenter 管理者ユーザのみで運用する場合はドメイン環境は必須ではありません。

JobCenter のインストール方法は、通常インストール (JobCenter を新規にインストールする場合) と JobCenter がすでにインストールされている場合の 2 通りがあります。

次の (1) または (2) で示す手順でインストールを行います。



**(1) 通常インストール (JobCenter を新規にインストールする場合)**

- ① JobCenter メディア (CD-ROM) をセットし、次に挙げるファイルをいったんローカルディレクトリにコピーしてください。

Q:¥PACKAGE¥JB¥WINDOWS¥JAPANESE¥JB\_SV.EXE

または

Q:¥PACKAGE¥JB¥WINDOWS¥JAPANESE¥JB\_SV\_IPF.EXE 注<sup>1</sup>

または

Q:¥PACKAGE¥JB¥WINDOWS¥JAPANESE¥JB\_SV\_X64.EXE 注<sup>2</sup>

注 1. Windows Server 2003 for Itanium-based Systems 用の 64 ビットネイティブバイナリ

注 2. Windows Server 2003 x64 Editions 用の 64 ビットネイティブバイナリ

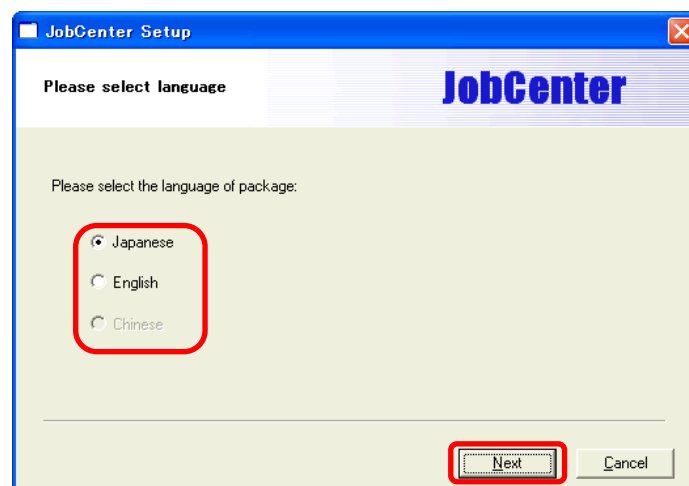
- ② ファイルは自己解凍形式になっていますので、実行して展開します。
- ③ 展開されたディレクトリ内の SV\_setup\_IA32.exe, SV\_setup\_IPF.exe または SV\_setup\_EM64T.exe を実行します。

以降は、画面の指示に従ってください。

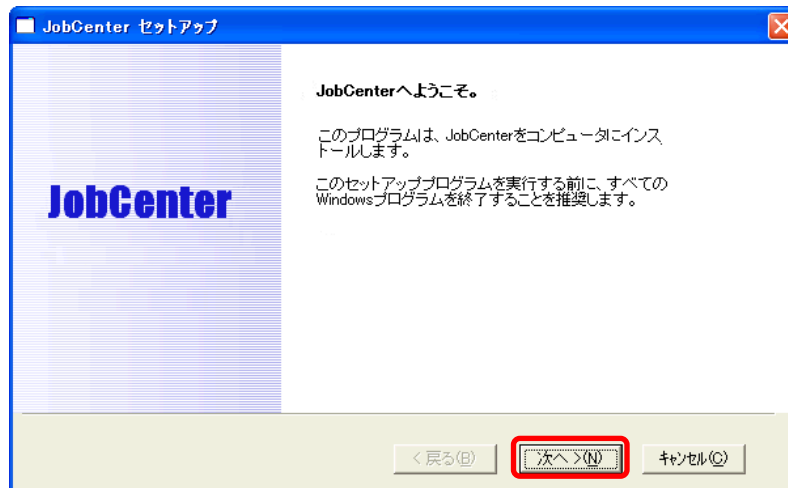
**JobCenter がすでにインストールされている場合**

通常インストールと上書きインストールの選択ダイアログボックスが開きます。「2.4.5 (2) JobCenterがすでにインストールされている場合」を参照してください。

- ④ インストールに用いる言語を選択して、[Next] ボタンをクリックします。

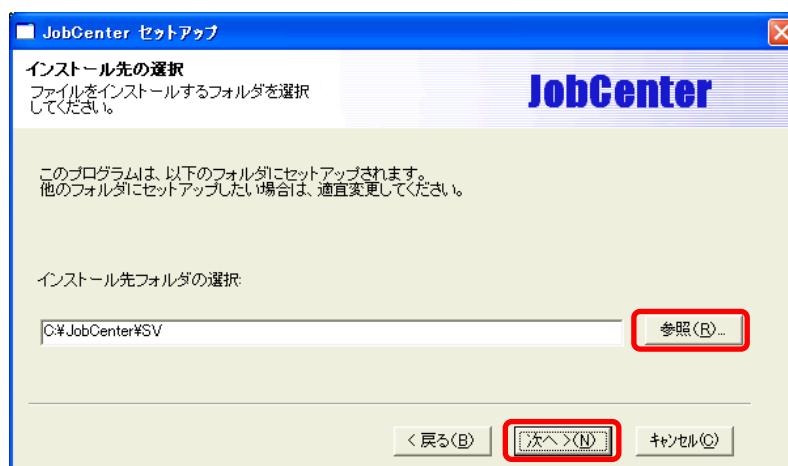


- ⑤ [次へ>(N)] ボタンをクリックします。



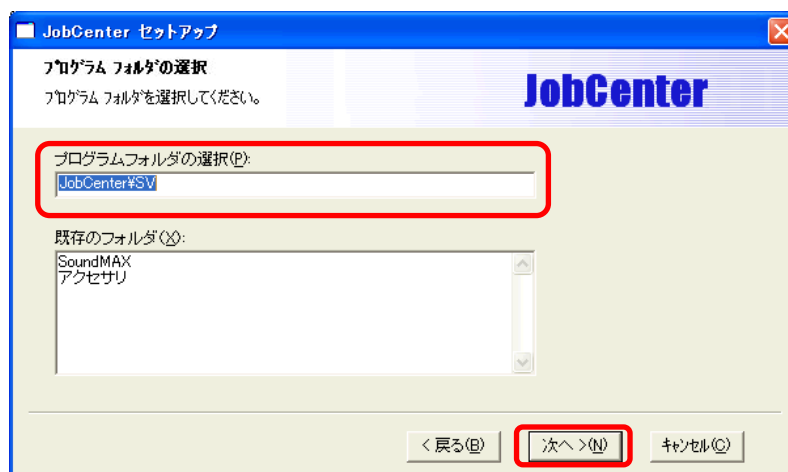
- ⑥ インストール先のフォルダを選択し、[次へ>(N)] ボタンをクリックします。

インストール先のフォルダを変更する場合には、[参照(R)...] ボタンをクリックし、画面の指示に従ってインストール先のフォルダを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

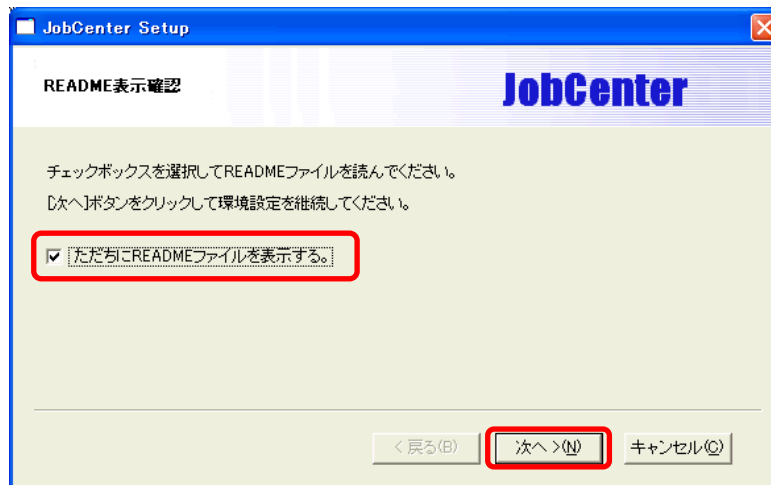


 インストールフォルダ名に空白、タブおよび「%」、「(」、「)」、「^」、「;」、「&」、「=」、「,」などの特殊文字は使用できません。

- ⑦ プログラムフォルダを選択し、[次へ>(N)] ボタンをクリックします。

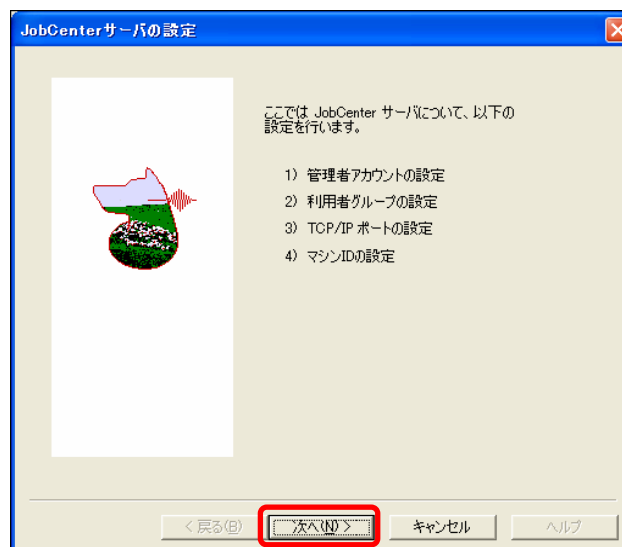


- ⑧ README ファイルを参照しない場合は、チェックを外してから、[次へ>(N)] ボタンをクリックします。



インストールに続いて、初期設定を行います。

- ⑨ [次へ(N)>] ボタンをクリックします。



- ⑩ JobCenter で使用する管理者ユーザの登録を行います。

管理者アカウント、管理者パスワード（2 箇所）を入力し、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。存在しないアカウントを入力した場合は、新規アカウントが作成されます。

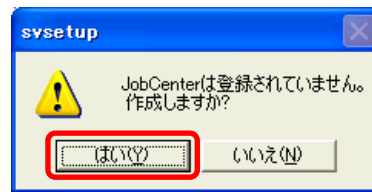
 ユーザ名の最大長は 15 バイトです。

**備考** ドメイン環境にインストールする場合は、JobCenter 管理者ユーザをローカルユーザで登録するか、ドメインのユーザで登録するかを選択できます。

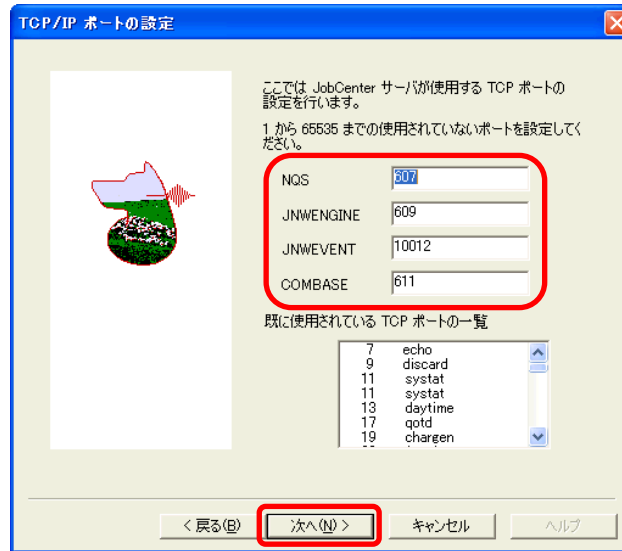
- ⑪ JobCenter の利用者グループを登録します。

利用者グループにグループ名を入力し、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。存在しないグループ名を入力した場合は、新規にグループが作成されます。

- ⑫ 新規利用グループを作成した場合は、svsetup の画面が表示されます。  
[はい(Y)] ボタンをクリックします。



- ⑬ JobCenter が使用する TCP/IP のポートを指定して、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。



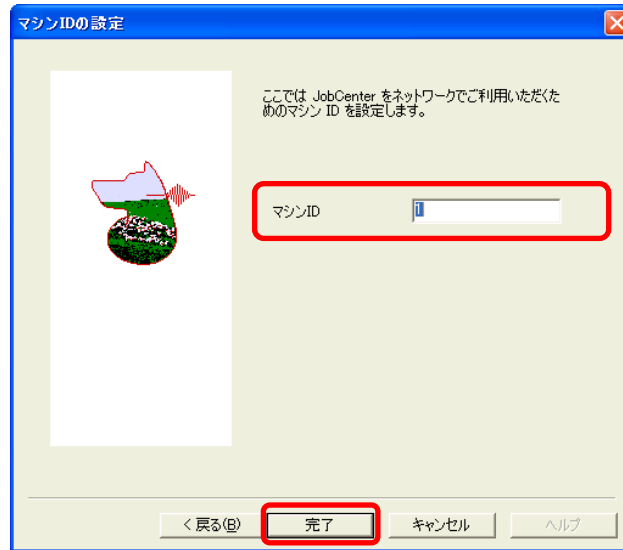
JNWEVENT を除くポート番号には、700 番以下の使用していない番号を入力してください。また、他のサーバを管理したり、ジョブを転送したりする場合には、サーバ間で同じ番号を設定してください。

**備考** TCP ポートのデフォルト値は次のとおりです。設定画面の「既に使用されている TCP ポートの一覧」の欄を参照し、重複していないか確認してください。

NQS : 607  
JNWENGINE : 609  
JNWEVENT : 10012  
COMBASE : 611

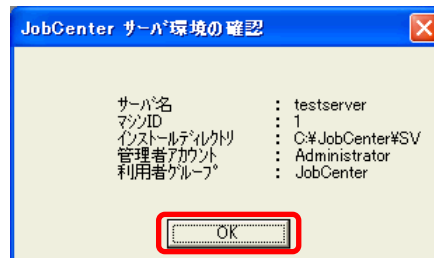
- ⑭ NQS のマシン ID (ホスト ID) を入力します。マシン ID は、JobCenter がマシンを識別するための ID です。

設定後、[完了] ボタンをクリックします。



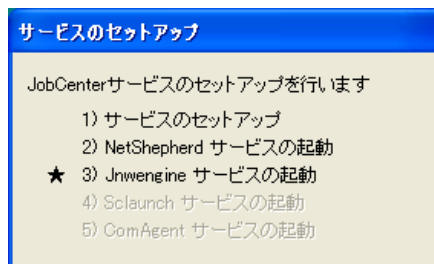
-  **JobCenter がインストールされているマシン間で、マシン ID が重複しないようにしてください。デフォルトで「1」が設定されています。**

- ⑮ JobCenter サーバ環境の確認画面が表示されます。  
設定内容を確認し、[OK] ボタンをクリックしてください。

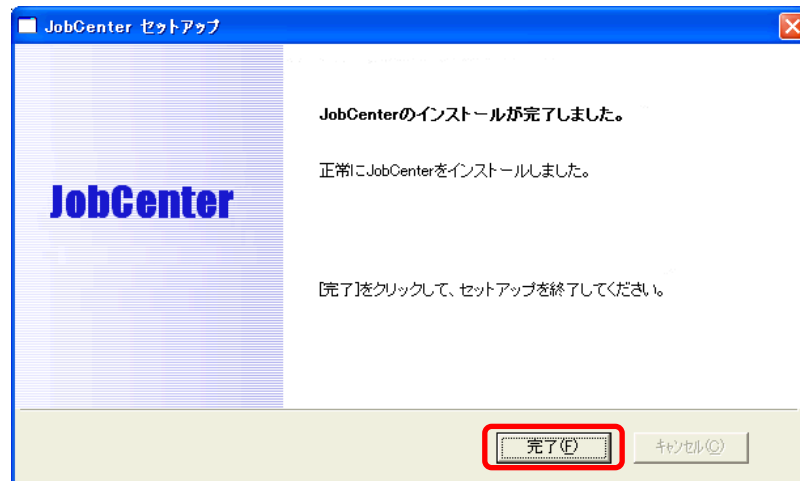


**備考** ドメイン環境にインストールした場合は、ユーザ追加処理に数分かかることがあります  
が異常ではありません。

- ⑯ サービスのセットアップが開始します。



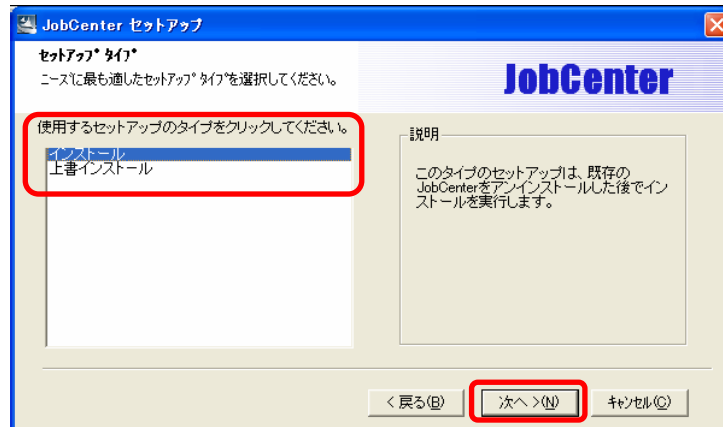
- ⑪ [完了] ボタンをクリックします。



**備考** ドメイン環境にインストールした場合は、セットアッププログラムが正常終了したあと、設定を有効にするためにシステムの再起動が必要です。

## (2) JobCenter がすでにインストールされている場合

- ① すでに JobCenter がインストールされている場合は、次のダイアログが表示されます。  
セットアップのタイプを選択し、[次へ>(N)] ボタンをクリックします。



- 「インストール」を選択した場合

既存の JobCenter をアンインストールしてから新たに JobCenter のインストールを行います。NQS 関連のキューの情報は引き継がれません。

「2.4.5 (1) 通常インストール (JobCenterを新規にインストールする場合)」の手順に従ってインストールしてください。

- 「上書インストール」を選択した場合

現在の設定を引き継いでインストールが行われます。このインストール方法では、NQS 関連のキューの情報も引き継がれます。

上書きインストールの前に、%InstallDirectory%\%ag¥lib¥comagent.acf を変更している場合は、同ファイルをバックアップしてください。インストールを実行後、バックアップしたファイルを新規にインストールされたファイルに上書きします。

**備考** %InstallDirectory%は JobCenter 本体のインストールディレクトリを表します。



「インストール」と「上書インストール」のどちらを選択しても、ユーザが作成したジョブネットワークの情報は引き継がれます。

**備考** 上記インストール方法は、旧バージョンが JobCenter (SV) R12.2 以降の場合です。それ以外の場合は、「5.2.1 バージョンアップ」の (1) または (2) を参照してください。セットアップ画面は、[キャンセル (C)] ボタンをクリックし、いったん閉じてください。



## 2.5 JobCenter SV をインストールする

JobCenter SV のインストール方法を説明します。



1 台のマシンに JobCenter SV と JobCenter MG をインストールする場合には、パッケージのインストールは JobCenter MG だけ行います。ただし、コードワードの登録は JobCenter SV と JobCenter MG の 2 つ分必要です。

- 2.5.1 HP-UX版
- 2.5.2 Solaris版
- 2.5.3 Linux版
- 2.5.4 AIX版
- 2.5.5 Windows版

### 2.5.1 HP-UX 版

- ① JobCenter メディア（CD-ROM）をセットします。

JobCenter メディアは RockRidge 形式で作成されていますので、HP-UX で CD-ROM をマウントする際は、次のように mount でマウントします。

- root ユーザでログインし、ioscan コマンドにてデバイス名の確認を行ってください。

```
/usr/sbin/ioscan -fnu -Cdisk
```

- JobCenter メディア（CD-ROM）をセットし、次のコマンドを実行します。

```
/usr/sbin/mount -F cdfs -o rr <device-name> <mount-point>
```

マウントポイント（<mount-point>）およびデバイス名（<device-name>）はシステムにあわせて変更してください。

- ② 次のコマンドを実行してインストールします。

```
/usr/sbin/swinstall -s <HP_PRODUCT_PATH> NECSSJBag
```

**備考** <HP\_PRODUCT\_PATH>はプロダクトのファイルパスです。実際の入力値は、JobCenter メディアのリリースメモ（RELMEMO）を参照してください。

- ③ コマンド実行後エラーがなければ、インストーラは次のメッセージを表示します。インストールは正常に終了しています。

```
* Execution succeeded.
```

エラーなどによりインストールが失敗した場合には、インストーラのログファイルを参照し、インストールに失敗した理由を取り除いてください。

インストーラのエラーについては「HP-UX のマニュアル」を参照してください。

- ④ インストール正常終了後、「3. 実行環境のセットアップ（UNIX版）」へ進んでください。

### 2.5.2 Solaris 版

---

- ① JobCenter メディア（CD-ROM）をセットします。
- ② 次のコマンドを実行してインストールを行います。

```
pkgadd -d <SUN_PRODUCT_PATH>
```

**備考** <SUN\_PRODUCT\_PATH>は、プロダクトのファイルパスです。実際の入力値は、JobCenter メディアのリリースメモ（RELMEMO）を参照してください。

- ③ コマンド実行後、システムは JobCenter がインストール可能であることを次のように表示し、入力待ちの状態となります。

```
The following packages are available:
1 NECSSJBag JobCenter
(Solaris(Sparc)) Release 12.6

Select package(s) you wish to process (or 'all' to process all packages).
(default: all) [?,??,q]:
```

- ④ パッケージのインストールを行う場合には、「1」を選択し、リターンキーを押します。以降はインストーラの指示に従ってインストールを行ってください。

エラーなどによりインストールが失敗した場合には、インストーラのログファイルを参照し、インストールに失敗した理由を取り除いてください。

- ⑤ インストール正常終了後、「3. 実行環境のセットアップ（UNIX版）」へ進んでください。

### 2.5.3 Linux 版

---

JobCenter SV のインストールは、JobCenter MG のインストール手順と同じです。  
JobCenter MG のインストール手順に従ってください。

### 2.5.4 AIX 版

---

JobCenter SV のインストールは、JobCenter MG のインストール手順と同じです。  
JobCenter MG のインストール手順に従ってください。

### 2.5.5 Windows 版

---

JobCenter SV のインストールは、JobCenter MG のインストール手順と同じです。  
JobCenter MG のインストール手順に従ってください。

---

## 2.6 JobCenter CL/Win をインストールする

---

JobCenter CL/Win（ビューフ）は、JobCenter MG（マネージャ）および JobCenter SV（サーバ）に接続する Windows GUI です。

インストールとセットアップは一連の流れで行われます。



**JobCenter CL/Win のインストールを行う前に現在動作中のすべてのアプリケーションを終了してください。ランタイムライブラリのインストールを円滑に行うために必要です。**

---

### 2.6.1 インストールの開始

#### 2.6.2 セットアップ画面

---

### 2.6.1 インストールの開始

JobCenter メディア（CD-ROM）をセットします。

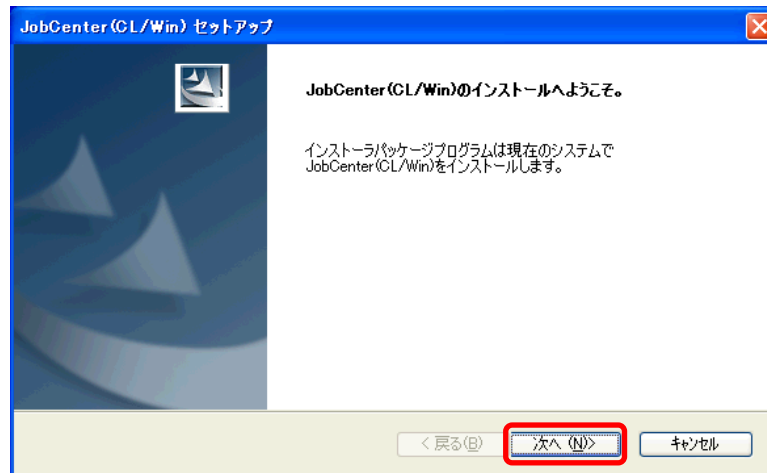
Windows の [スタート] – [ファイル名を指定して実行] を選択します。次のファイル名を指定して、[OK] ボタンを選択します。

- Q:¥PACKAGE¥JB¥WINDOWS¥JAPANESE¥JB\_CL.EXE

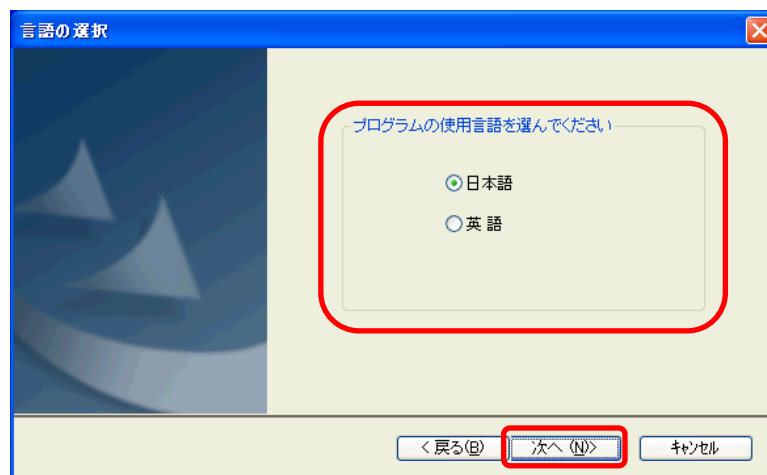
**備考** ここでは、CD-ROM ドライブを Q: ドライブとして説明します。CD-ROM ドライブを他のドライブ名に割り当てている場合は、適宜読み替えてください。

## 2.6.2 セットアップ画面

- ① セットアップ開始画面が表示されますので、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。



- ② JobCenter CL/Win で使用する言語（日本語または英語）を選択し、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。



- ③ JobCenter CL/Win を利用する際に、次のいずれかのモードで利用するかを選択し、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。

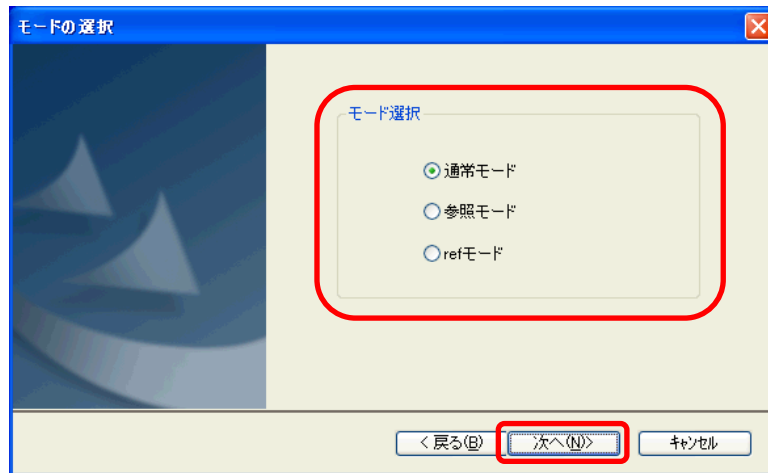


表 2-6 登録モードと操作可能範囲

| 登録モード   | ジョブネットワークの作成、削除、変更 | ジョブネットワークやジョブの制御 |
|---------|--------------------|------------------|
| 通常モード   | ○                  | ○                |
| 参照モード   | ×                  | ○                |
| ref モード | ×                  | ×                |

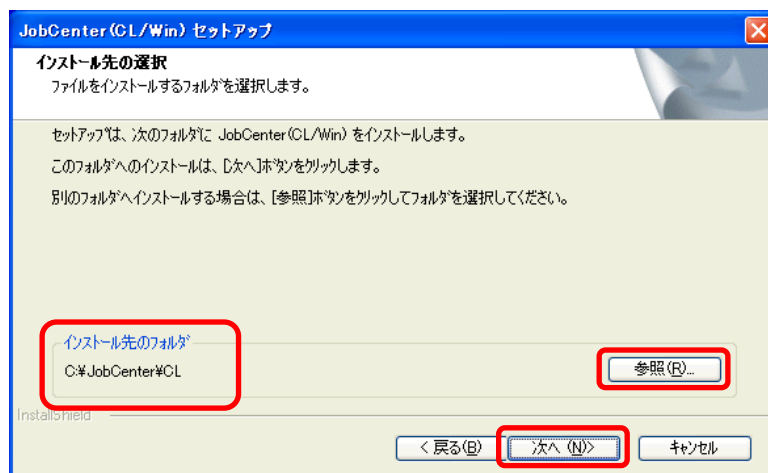
備考 ○：操作可能、×：操作不可能

- ④ JobCenter CL/Win をインストールするフォルダを選択します。

インストール先のフォルダの初期値は、「C:\JobCenter\CL」となっています。

インストール先のフォルダを変更する場合には、[参照(R)...] ボタンをクリックし、画面の指示に従ってインストール先のフォルダを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

インストール先を決定後、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。



インストールフォルダ名に空白、タブおよび「%」、「(」、「)」、「^」、「;」、「&」、「=」、「,」などの特殊文字は使用できません。

- ⑤ JobCenter CL/Win の起動直後によく利用するウィンドウを開くショートカットを選択し、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。

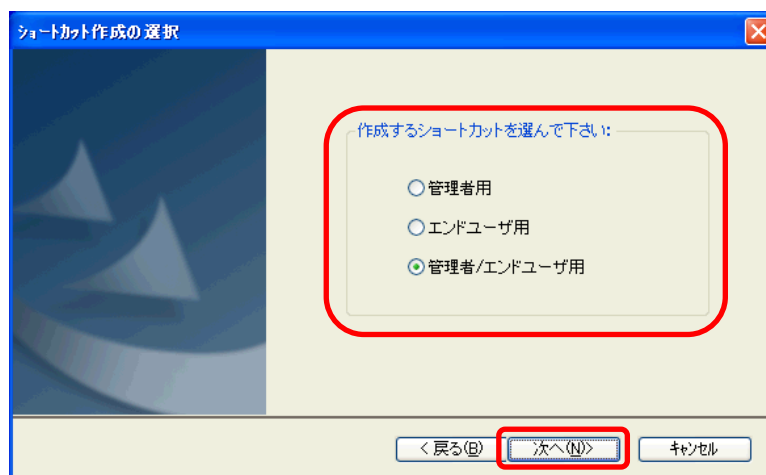


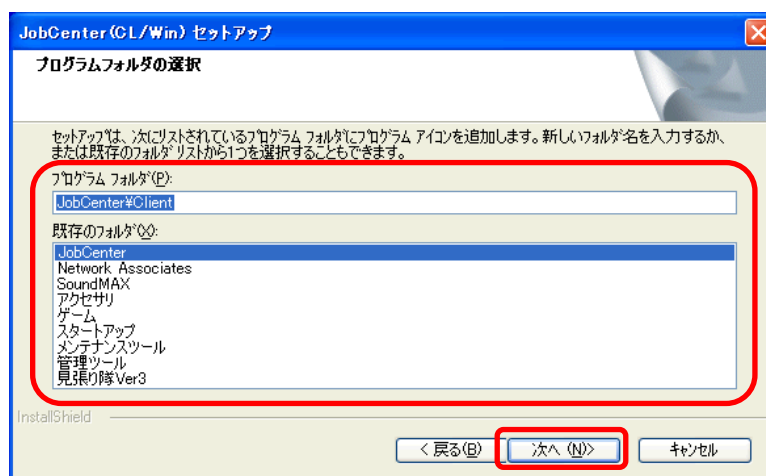
表 2-7 利用するウィンドウと作成されるショートカット

| 利用するウィンドウ   | 作成されるショートカット                                                                           |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 管理者用        | JobCenter CL/Win 起動直後に [ジョブネットワーク一覧] ウィンドウが開くようなショートカットが作成されます。                        |
| エンドユーザ用     | JobCenter CL/Win 起動直後に [ユーザメニュー] ウィンドウが開くようなショートカットが作成されます。                            |
| 管理者/エンドユーザ用 | JobCenter CL/Win 起動直後に [ジョブネットワーク一覧] ウィンドウ、および [ユーザメニュー] ウィンドウを開く 2 種類のショートカットが作成されます。 |

- ⑥ JobCenter CL/Win のショートカットを格納するフォルダを選択します。

フォルダは、[既存のフォルダ(X)] から選択するか、もしくは [プログラムフォルダ(P)] に任意のフォルダ名を入力します。

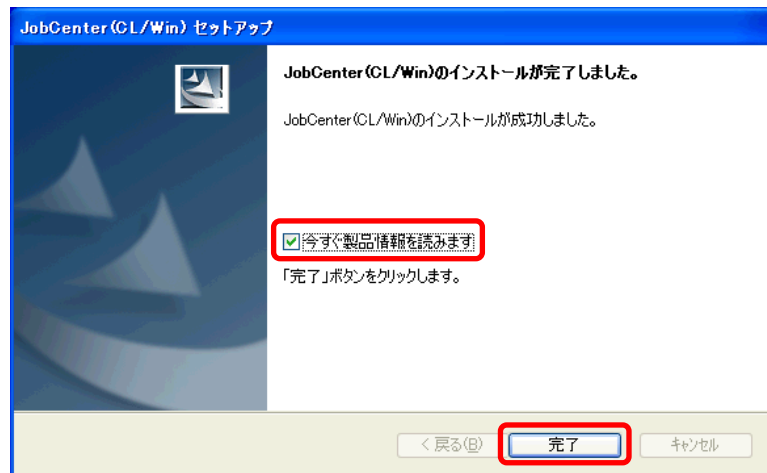
フォルダを決めて、[次へ(N)>] ボタンをクリックすると、プログラムのコピーが開始されます。



⑦ プログラムのコピーが正常に終了すると、セットアップが完了します。

[完了] ボタンをクリックし、セットアップを完了します。

「今すぐ製品情報を読みます」をチェックしてから [完了] ボタンをクリックすると、製品情報が参照できます。



## 3. 実行環境のセットアップ (UNIX 版)

JobCenter の実行環境のセットアップ (UNIX 版) を行います。

なお、Windows 版の場合はインストール時にセットアップも一連の流れで行われます。

### (1) JobCenter のセットアップ

<1> nssetup (セットアップ用のコマンド) を実行する

```
/opt/netshep/nssetup
```

ただし Linux の場合は、次のようになります。

```
/usr/local/netshep/nssetup
```

このコマンドを実行すると、ディレクトリが自動的に作成され、NQS ホスト ID の入力待ちの状態となります。

```
Setting NQS ホスト ID.  
INPUT: Machine-id of this machine (default:1)=
```

ここで、あらかじめ決めておいた NQS ホスト ID を入力します。

(例)

```
1234 ↵
```



JobCenter がインストールされているマシン間で、ホスト ID (マシン ID) が重複しないようにしてください。デフォルトで「1」が設定されています。



このあと JobCenter が使用するポートを/etc/services に追加しますが、Linux の場合は、次のようなエラーが表示されることがあります。

```
Combase port number is already used in /etc/services.  
It is witten as follow:  
npmp-gui 611/tcp dqs313_execd # npmp-gui / DQS  
You must movethat entry to another number and write NQS  
entry as follow:  
jccombase 611/tcp COMBASE # JobCenter/combase
```

- ◆ 上記のメッセージが表示された場合、サービスの登録を手動で行う必要があります。上記の jccombase の記述行を、/etc/services に別途追加してください。
- ◆ すでに別のアプリケーションで上記のポートを利用している場合には、ポート番号を 611 から変更して登録してください。なお、ここでポート番号を変更した場合には、連携する他のホストの/etc/services の記述を別途変更してください。
- ◆ 連携対象が Windows 版の場合は、次のレジストリキーのポート番号を変更してください。

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE] — [SOFTWARE] — [NEC] —  
[JobCenter(CL/Win)] — [R12.6 の ComBasePort の値]
```



**<2> JobCenter を使用する言語環境を選択する**

このマシンで起動する GUI およびジョブネットワークは、ここで選択した文字コード以外は使用できなくなります。

```
Select language code for JobCenter.  
0 - English  
1 - EUC  
2 - Shift-JIS (MS-kanji)  
3 - Chinese (GB18030)  
Which language code do you use in this system ? (0/[1]/2/3)
```

スクリプト内で環境変数 LANG の設定値を変更したり、スクリプト実行用シェルの LANG 初期値が異なっていた場合、文字化けが発生する可能性がありますので注意してください（デフォルトで選択されている文字コードは、環境変数 LANG の値によって異なります）。

（例）

```
1 ↵
```

**<3> UMS 環境を設定する**

ここでは、JobCenter の管理者である nsumsmgr というユーザのアカウントを新たに自動的に作成するかどうかをたずねるメッセージが表示されます。ただし、すでに nsumsmgr というユーザが存在する場合には、このメッセージは表示されません。

```
Start NQS daemon.  
making UMS environment..  
JobCenter needs new user "nsumsmgr".  
Do you want to create user "nsumsmgr" automatically ? ([y]/n)
```

- 管理者ユーザを作成する場合

y を入力しリターンキーを押し、セットアップを続けます。

システムの状態が調べられ、次のように出力されます (ユーザ ID などはマシンごとに異なる場合があります)。

```
Create new user "nsumsmgr" as following:
(1)USER ID : 738 (nsumsmgr)
(2)GROUP ID : 1 (other)
(3)HOME DIRECTORY : /home/nsumsmgr
SHELL : /sbin/sh
COMMENT : JobCenter manager
OK? (y/1/2/3/q) :
```

上から順に、(1)ユーザID、(2)グループID、(3)ホームディレクトリ、シェル、コメントと並んでいます。このうち、変更できるのは、ユーザID、グループID、ホームディレクトリの3つです。

修正したい箇所の ( ) 内の数字を入力してリターンキーを押すことで、修正モードに入ります。次の「<4>管理者ユーザの設定を変更する」に進んでください。

現在の設定でよければ、yを入力してリターンキーを押して、「<5>パスワードを設定する」に進んでください。なんらかの理由で作業を中断する場合は、qを入力してリターンキーを押してください。

- 管理者ユーザの設定を自動で行わない場合

n を入力しリターンキーを押します。

NIS 運用されている環境にインストールする場合や上記の条件に当てはまらないなどの理由により、管理者ユーザの設定を自動で行わない場合には、次のメッセージが表示されてインストール (セットアップ) は終了となります。

```
You must create new user nsumsmgr manually,
And execute "/usr/lib/nqs/gui/bin/mkumseenvsh" .
```



ここで管理者の設定を行わなかった場合には、インストール後に必ず設定を行ってください。

#### <4> 管理者ユーザの設定を変更する

- ユーザ ID の変更

```
OK? (y/1/2/3/q) :1
```

ここに、1 を入力してリターンキーを押すと、次のようにユーザ ID をたずねるメッセージが表示されます。

```
Set USER ID: 500
```

設定したいユーザIDを入れると、そのユーザIDがすでに使用されていないかを調べます。

すでに使用されていれば、次のメッセージが出力され、もう一度別のユーザ ID を入力するように求められます。

```
USER ID: 500 is already in use.  
Set USER ID:
```

入力したユーザ ID に問題なければ、次の画面に戻ります（ここでは、ユーザ ID を 738 から 501 に変更しています）。

```
Create new user "nsumsmgr" as following:  
(1)USER ID : 501 (nsumsmgr)  
(2)GROUP ID : 1 (other)  
(3)HOME DIRECTORY : /home/nsumsmgr  
SHELL : /sbin/sh  
COMMENT : JobCenter manager  
OK? (y/1/2/3/q) :
```

#### グループ ID の変更

```
OK? (y/1/2/3/q) :2
```

前の画面（ユーザ ID 変更の完了画面）で 2 を入力し、リターンキー押すことでグループ ID の修正モードに入ります。最初に次のメッセージが表示されます。

```
Possible GROUP ID is following:  
root : 0  
other : 1  
bin : 2  
sys : 3  
.  
.  
Set GROUP ID:
```

グループ ID は、存在しているグループ ID にのみ変更できるため、現在設定されているグループ ID のリストがまず表示され、最後にグループ ID の入力を求めるメッセージが出力されます。グループ ID のリストを見て、正しい ID を入力してください。

- ホームディレクトリの変更

```
OK? (y/1/2/3/q) :3
```

ユーザ ID 変更の完了画面で 3 を入力して、リターンキー押すことで、設定するディレクトリを次のように聞いてきます。

```
Set directory:
```

適切なディレクトリを入力してください。

すでに存在しているディレクトリを入力した場合、次のようなメッセージが表示されます。

```
Directory "/home/nsumsmgr" exists.  
OK? (y/[n]) :y
```

ここで y を入力してリターンキーを押すと、そのディレクトリに変更することができます。



#### 注意事項

- (3)ホームディレクトリに既存のディレクトリを指定した場合は、そのディレクトリ下の全てのファイルとディレクトリの所有者は、管理者ユーザのユーザ ID とグループ ID に変更されます。
- Linux 機や AXI 機では、ホームディレクトリを変更した場合、デフォルトのホームディレクトリも作成される場合があります。そのシステムのデフォルトのホームディレクトリを確認し、不要な nsumsmgr ディレクトリが存在する場合は、手動で削除してください。

#### <5> パスワードを設定する

```
OK? (y/[n]) :y
```

画面の(1), (2), (3)項の変更が完了し、y を入力してリターンキーを押すと、パスワードの設定に移ります。次のように表示されたら、新しいパスワードを入力してください。

```
Set password of "nsumsmgr"
New password:
```

入力が終了すると、次のように再度パスワードの確認を求めるメッセージが表示されますので、同じパスワードを入力してください。

```
Re-enter new password:
```



**HP-UX ではパスワードのないアカウントに対してリモートシェルが実行できません。その場合、マネージャからのセットアップが正しくできなくなります。また、セキュリティ上の問題もありますので、パスワードは必ず設定してください。**

パスワード設定まで終了すると、ユーザ nsumsmgr のアカウントの設定が終了したことを知らせるメッセージが表示されます。

```
Complete to create new user "nsumsmgr".
Start making ".rhosts".
Input official host name of UMS machine:
```

#### <6> .rhosts ファイルを設定する

```
Input official host name of UMS machine:
```

.rhosts ファイルに UMS が動作するホスト名（マネージャのホスト名）を登録します。UMS がインストールされたホスト名を正式名称で入力してください。エイリアス名でなく、正式な名称で入力してください。たとえば、hostname.domain.co.jp と入力すると、次のような確認のメッセージが表示されます。

```
Host name is "hostname.domain.co.jp". OK? ([y]/n)
```

y を入力してリターンキーを押すと、次に進みます。

n を入力してリターンキーを押すと、ホスト名の再入力ができます。

最後に、NetShepherd 管理者リストにユーザ nsumsmgr を追加登録して管理者ユーザ設定は終了です。

次のメッセージが表示され、セットアップは終了します。

```
Start adding to qmgr.Complete adding to qmgr
```

## (2) BASECenter(MG)を使用する場合

JobCenter MG のセットアップ完了後、SysetemScope のドロップインアイコンの登録のために ssEventD を次の手順で再起動します。

```
> /opt/0V/bin/ovstop ssEventD  
> /opt/0V/bin/ovstart ssEventD
```

また、JobCenter MG のパッケージを削除した場合にも、同様に再起動を行います。

## (3) AIX で BASECenter を使用してイベント連携を行う場合

AIX に JobCenter と BASECenter がインストールされている場合、ジョブネットワークイベント送信デーモンを置き換える必要があります。

次の手順で行います。詳細については、「JobCenter 環境構築ガイド 11.3.1 BASECenter を用いた連携」を参照してください。

- ① JobCenter サービス停止します。

```
/usr/lib/nqs/nqsstop
```

- ② ファイルを退避します。

```
cp -p /usr/lib/nqs/jnwcaster /usr/lib/nqs/jnwcaster.bk
```



**BASECenter 以外のイベント連携を行う場合は、jnwcaster ファイルを元に戻す必要があるため、必ずファイルを退避してください。**

- ③ ファイルを置換します。

```
cp -p /usr/lib/nqs/jnwcaster.BASE /usr/lib/nqs/jnwcaster
```

- ④ JobCenter サービス開始します。

```
/usr/lib/nqs/nqsstart
```

---

## 4. アンインストール

---

LicenseManager, JobCenter MG/SV および JobCenter CL/Win のアンインストール方法を説明します。

- 
- 4.1 LicenseManagerをアンインストールする
  - 4.2 JobCenter MG, JobCenter SVをアンインストールする
  - 4.3 JobCenter CL/Winをアンインストールする

## 4.1 LicenseManager をアンインストールする

### 4.1.1 UNIX版

#### 4.1.2 Windows版

### 4.1.1 UNIX 版

#### (1) パッケージをアンインストールする

LicenseManager と依存関係にあるプロダクトがある場合は先にそれを削除してください。



依存関係にあるプロダクトを削除せずに LicenseManager を削除した場合、依存関係にあるプロダクトの動作に影響を与える恐れがあります。

ログイン名"root"でログインします。

```
login:root ↵
```

以降の OS ごとの説明では\_\_部分（下線部分）をキーボードから入力してください。

#### <1> HP-UX 版

- ① 次のコマンドを実行します。本パッケージが削除されます。

```
root> swremove NECWSLM ↵
```

コマンドが正常終了したのを確認してください。削除は正常に終了しています。

- ② 確認のため次のコマンドを実行します。

```
root> swlist NECWSLM
```

- ③ 次のメッセージが表示されれば、本パッケージは正常に削除できています。

```
Software "NECWSLM" was not found on host "hostname:/"
```

#### <2> Solaris 版

- ① 次のコマンドを実行してください。本パッケージが削除されます。

```
root> pkgrm NECWSLM ↵
```

削除実行中に確認を求めるメッセージが表示されますが、いずれも y を入力してください。

- ② 次のメッセージが表示されれば削除は正常に終了しています。

```
Removal of <NECWSLM> was successful.
```

- ③ 確認のため次のコマンドを実行してください。

```
root> pkginfo NECWSLM
```

- ④ 次のメッセージが表示されれば、本パッケージは正常に削除できています。

```
ERROR: information for "NECWSLM" was not found
```

#### <3> Linux 版

- ① 次のコマンドを実行してください。本パッケージが削除されます。

```
root> rpm -e NECWSLM ↵
```

- ② 次のメッセージが表示されれば、本パッケージは正常に削除できています。

```
*****now removing *****  
Uninstallation was successful.
```



## 4.1.2 Windows 版

### (1) パッケージをアンインストールする

LicenseManager と依存関係にあるプロダクトがある場合は先にそれを削除してください。

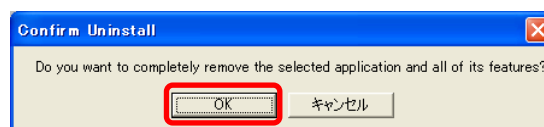
 依存関係にあるプロダクトを削除せずに LicenseManager を削除した場合、依存関係にあるプロダクトの動作に影響を与える恐れがあります。確認をお願いします。

次の手順に従って LicenseManager(MainPart)プロダクトの削除を行います。

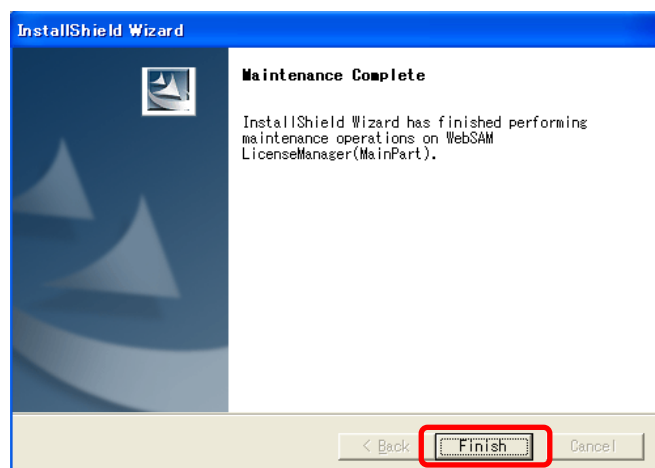
- ① マシンを立ち上げ Administrator 権限のあるユーザでログインしてください。
- ② Windows の [スタート] – [コントロールパネル] で「プログラムの追加と削除」を実行し、次の画面を表示させます。[変更と削除] ボタンをクリックします。



- ③ 次の画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックして、プロダクトの削除を行います。



- ④ 次の画面が表示されれば、削除は完了です。[Finish] ボタンをクリックし、削除作業を終了します。



4.2 JobCenter MG, JobCenter SV をアンインストールする

- 4.2.1 UNIX版
- 4.2.2 Windows版

4.2.1 UNIX 版

(1) パッケージをアンインストールする

表 4-1を参考に、旧バージョンのJobCenterのパッケージを削除してください。  
削除するパッケージは、OS 別に JobCenter の種別（MG や SV）によって異なりますので、実際にインストールされているパッケージ名を確認してから削除してください。

表 4-1 削除が必要なパッケージ名とパッケージ削除コマンド OS 別一覧

| OS      | 削除が必要なパッケージ名 | パッケージ削除コマンド           |
|---------|--------------|-----------------------|
| HP-UX   | NECSSJBmg    | swremove <pkgname>    |
|         | NECSSJBag    |                       |
|         | NECSSJBpt 注  |                       |
| Solaris | NECSSJBmg    | pkgrm <pkgname>       |
|         | NECSSJBag    |                       |
|         | NECSSJBpt 注  |                       |
| AIX     | NECSSJBag    | installp -u <pkgname> |
|         | NECSSJBpt 注  |                       |
| Linux   | NECSSJBag    | rpm -e <pkgname>      |
|         | NECSSJBpt 注  |                       |

注 パッチを適用しているシステムのみ削除が必要です。削除の際は、他のパッケージよりも先に削除する必要があります。

(2) NQS 関連のデータを削除する

NQS 関連のデータを削除する場合は、次のディレクトリを削除してください。

- /usr/spool/nqs

(3) ユーザ関連のデータを削除する

ユーザ関連のデータを削除する場合は、次のディレクトリを削除してください。

- （ユーザのホームディレクトリ）/NetShepEUI

## 4.2.2 Windows 版

### (1) パッケージをアンインストールする

旧バージョンの JobCenter のバージョンによってアンインストールの方法が異なります。

#### <1> JobCenter (SV/NT) R4.1 以前 (NetShepherd 系) の場合

旧バージョンの JobCenter (または NetShepherd) のインストールメディアに含まれている、JobCenter のパッケージ削除のコマンド svuninst.exe を実行します。

#### <2> JobCenter (SV/NT) R7.1 以降の場合

Windows の [スタート] - [すべてのプログラム] - [JobCenter] - [SV] - [アンインストール] を実行します。

JobCenter SV のアンインストールでは、スタートメニューの [JobCenter] グループを削除できない場合があります。アンインストール後、新たなバージョンをインストールしない場合には、別途スタートメニューの [JobCenter] を削除してください。

### (2) NQS 関連のデータを削除する

NQS 関連のデータを削除する場合は、次のフォルダを削除します。

- %InstallDirectory%\etc
- %InstallDirectory%\nmap
- %InstallDirectory%\spool

**備考** %InstallDirectory%は JobCenter 本体のインストールディレクトリを表します。

### (3) ユーザ関連のデータを削除する

ユーザ関連のデータを削除する場合は、次のフォルダを削除します。

- %InstallDirectory%\jnwexe\spool\<ユーザ名>

**備考** %InstallDirectory%は JobCenter 本体のインストールディレクトリを表します。

### (4) レジストリ関連のデータを削除する

レジストリ関連のデータを削除する場合は、次の手順を行います。

- ① Windows の [スタート] - [ファイル名を指定して実行] で表示されるダイアログに「regedit」と入力し、[OK] ボタンをクリックします。レジストリエディタの画面が表示されます。
- ② レジストリエディタの左の画面で次のキーを選択し、右クリックしたときのポップアップメニューから削除を選択します。
  - HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\NEC\NetShepherd\SV

### (5) 環境変数の設定を削除する

JobCenter をクラスタで使用していた場合、環境変数 NQS\_SITE の設定の有無を確認し、NQS\_SITE が設定されていた場合は削除します。

---

## 4.3 JobCenter CL/Win をアンインストールする

---

---

### 4.3.1 パッケージをアンインストールする

### 4.3.2 レジストリ関連のデータを削除する

---

### 4.3.1 パッケージをアンインストールする

Windows の [スタート] – [コントロールパネル] – [プログラムの追加と削除] を選択し、表示される画面で JobCenter (CL/Win) を選択、[変更と削除] をクリックします。

---

### 4.3.2 レジストリ関連のデータを削除する

レジストリ関連のデータを削除する場合は、次の手順を行います。

- ① Windows の [スタート] – [ファイル名を指定して実行] で表示されるダイアログに「regedit」と入力し [OK] ボタンをクリックします。レジストリエディタの画面が表示されます。
- ② レジストリエディタの左の画面で次のキーを選択し、右クリックしたときのポップアップメニューから削除を選択します。
  - HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥NEC¥JobCenter (CL/Win) ¥R12.6

---

## 5. バージョンアップ

---

JobCenter のバージョンアップ方法を説明します。

---

5.1 UNIX版

5.2 Windows版

5.1 UNIX 版



注意事項

- ◆ アンインストール時、ユーザが作成したジョブネットワークの定義データは引き継がれます。ただし、実行中のリクエストやトラッカは引き継げません。また、独自に作成していたキューや、リクエスト転送先のマシン情報、ユーザマッピングなどのNQS関連の設定値はすべて削除されますので、新しいバージョンをインストールしたあと再設定を行う必要があります。NQS関連の設定も引き継ぎたい場合は、「5.1.2 NQS関連のデータ引き継ぎ」を参照してください。
- ◆ R12.5 以降には共有ジョブネットワークがありません。したがって、R12.4.x 以前の JobCenter から R12.6 にバージョンアップする際には、前バージョンの共有ジョブネットワーク中の全ジョブネットワークを、適当なユーザのジョブネットワークグループに移動してからバージョンアップしてください。

5.1.1 バージョンアップ

5.1.2 NQS関連のデータ引き継ぎ

5.1.1 バージョンアップ

旧バージョンの JobCenter がインストールされている場合、新しいバージョンの JobCenter をインストールする前に JobCenter のパッケージを削除する必要があります。

アンインストールについては、「4.2.1 (1) パッケージをアンインストールする」を参照してください。削除するパッケージは、OS別にJobCenterの種別 (MGやSV) によって異なりますので、実際にインストールされているパッケージ名を確認してから削除してください。パッケージ名は、次の表 5-1を参照してください。

表 5-1 削除が必要なパッケージ名とパッケージ削除コマンド OS 別一覧

| OS      | 削除が必要なパッケージ名 | パッケージ削除コマンド           |
|---------|--------------|-----------------------|
| HP-UX   | NECSSJBmg    | swremove <pkgname>    |
|         | NECSSJBag    |                       |
|         | NECSSJBpt 注  |                       |
| Solaris | NECSSJBmg    | pkgrm <pkgname>       |
|         | NECSSJBag    |                       |
|         | NECSSJBpt 注  |                       |
| AIX     | NECSSJBag    | installp -u <pkgname> |
|         | NECSSJBpt 注  |                       |
| Linux   | NECSSJBag    | rpm -e <pkgname>      |
|         | NECSSJBpt 注  |                       |

注 パッチを適用しているシステムのみ削除が必要です。削除の際は、他のパッケージよりも先に削除する必要があります。

### 5.1.2 NQS 関連のデータ引き継ぎ

NQS 関連のデータをバージョンアップの前後で引き継ぎたい場合は、次の手順で作業を行います。

- ① JobCenter を停止して、次のディレクトリ配下のファイルをバックアップします。

`/usr/spool/nqs/nmap`

`/usr/spool/nqs/private`

- ② 旧バージョンの JobCenter のパッケージを削除します。削除方法に関しては、「4.2.1 UNIX 版」を参照してください
- ③ 新しいバージョンの JobCenter をインストールします。`/opt/netshep/nssetup` を実行したあと、`/usr/lib/nqs/nqsstop` で JobCenter を停止させます。
- ④ あらかじめ①でバックアップしておいた、`/usr/spool/nqs/nmap`、`/usr/spool/nqs/private` 配下のファイルをリストアします。ただし、次のファイルがあった場合は削除します。

- `/usr/spool/nqs/private/root/transfile`
- `/usr/spool/nqs/private/root/control/`（ディレクトリ）※ /配下の全ファイル
- `/usr/spool/nqs/private/root/data/`（ディレクトリ）※ /配下の全ファイル
- `/usr/spool/nqs/private/root/tracking/`配下の全ファイル

**注** （ディレクトリ）という表記はそこに存在するすべてのディレクトリを指します。ディレクトリを削除するという意味ではないので注意してください。内部のファイルのみ削除してください。

- ⑤ `/usr/lib/nqs/nqsstart` で JobCenter を起動します。

以上で、JobCenter のバージョンアップ作業は終了です。



#### 注意事項

- ◆ 自ホスト名を変更する場合、ジョブネットワークの定義情報に関しては、`jnwop` コマンドで変換することによりデータを引き継ぎます。しかしながら、NQS 関連の引き継ぎは行うことができません。このような場合は、通常の手順に従ってバージョンアップしてください。
- ◆ バージョンダウンの場合、設定内容の引き継ぎはできません。

## 5.2 Windows 版



### 注意事項

- ◆ アンインストール時、ユーザが作成したジョブネットワークの定義データは引き継がれます。ただし、実行中のリクエストやトラッカは引き継ぎません。また、独自に作成していたキューや、リクエスト転送先のマシン情報、ユーザマッピングなどのNQS関連の設定値はすべて削除されますので、新しいバージョンをインストールしたあと再設定を行う必要があります。NQS関連の設定も引き継ぎたい場合は、「5.2.2 NQS関連のデータ引き継ぎ」を参照してください。
- ◆ R12.5 以降には共有ジョブネットワークがありません。したがって、R12.4.x 以前の JobCenter から R12.6 にバージョンアップする際には、前バージョンの共有ジョブネットワーク中の全ジョブネットワークを、適当なユーザのジョブネットワークグループに移動してからバージョンアップしてください。

### 5.2.1 バージョンアップ

#### 5.2.2 NQS関連のデータ引き継ぎ

## 5.2.1 バージョンアップ

旧バージョンの JobCenter がインストールされている場合、新しいバージョンの JobCenter をインストールする前に JobCenter のパッケージを削除する必要があります。

旧バージョンの JobCenter のバージョンによってバージョンアップ方法が異なります。

### (1) JobCenter (SV/NT) R4.1 以前 (NetShepherd 系) の場合

- ① 旧バージョンの JobCenter (または NetShepherd) のインストールメディアに含まれている JobCenter のパッケージ削除のコマンド svuninst.exe を実行します。
- ② パッケージ削除後、新しいバージョンの JobCenter をインストールします。

### (2) JobCenter (SV/NT) R7.1 以降の場合

- ① Windows の [スタート] - [すべてのプログラム] - [JobCenter] - [SV] - [アンインストール] を実行します。
- ② パッケージ削除後、新しいバージョンの JobCenter をインストールします。

### (3) JobCenter (SV) R12.2 以降の場合

「2.4.5 (2) JobCenterがすでにインストールされている場合」を参照してバージョンアップを行ってください。

バージョンアップ実行後は、Windows の [スタート] - [すべてのプログラム] - [JobCenter] - [SV] - [サーバの環境設定] から [ユーザの管理] ボタンをクリックして、[JobCenter ユーザの管理] ダイアログで各ユーザのパスワード欄が「OK」となっているのを確認してください。「Not Set」となっているユーザが存在したら、ユーザ名およびパスワードを再入力してパスワード欄が「OK」となるのを確認してください。





**注意事項**

- ◆ MSCS クラスタ環境の場合、前のバージョンを削除して新しいバージョンをインストールする際に、特別な手順で行う必要があります。  
詳細については、次のマニュアルを参照してください。

- MSCS 環境におけるバージョンアップ手順
- MSCS 環境におけるバージョンアップ手順（IPF 版）

**備考** 上記マニュアルは保守契約に基づき提供されます。必要の際は、保守窓口にお問い合わせのうえ、入手してください。

- ◆ 前バージョンの JobCenter をクラスタで運用していた場合、アンインストール後に環境変数 NQS\_SITE の設定の有無を確認し、設定されていた場合は削除してください。環境変数 NQS\_SITE が設定されていると、新しいバージョンの JobCenter のセットアップは正常に実行できません。

## 5.2.2 NQS 関連のデータ引き継ぎ

NQS 関連のデータをバージョンアップの前後で引き継ぎたい場合は、次の手順で作業を行います。

- ① コントロールパネルのサービスから、JobCenter 関連のサービスを次の順番で停止させます。

バージョンによっては存在していないサービスもあります。その場合、そのサービスの停止はスキップして次のサービスを停止させてください。

- Sclaunch Service
- Comagent Service
- jnwengine service
- NetShepherd

- ② 次のフォルダ配下のファイルをバックアップします。

- %InstallDirectory%\etc
- %InstallDirectory%\nmap
- %InstallDirectory%\spool\private\root

**備考** %InstallDirectory%は JobCenter 本体のインストールディレクトリを表します。

- ③ 旧バージョンの JobCenter のパッケージを削除します。削除方法に関しては、「4.2.2 Windows版」を参照してください。
- ④ 新しいバージョンの JobCenter をインストール後、マシンを再起動します。

- ⑤ マシン再起動後、コントロールパネルのサービスから JobCenter 関連のサービスを次の順番で停止します。

- Sclaunch Service
- Comagent Service
- jnwengine service
- NetShepherd

- ⑥ バックアップしておいたファイルをリストアします。ただし、次のファイルがあった場合は、削除してください。

- %InstallDirectory%\\$spool\\$private\\$root\\$transfile
- %InstallDirectory%\\$spool\\$private\\$root\\$control\\$ (ディレクトリ) ※ ¥配下の全ファイル
- %InstallDirectory%\\$spool\\$private\\$root\\$data\\$ (ディレクトリ) ※ ¥配下の全ファイル
- %InstallDirectory%\\$spool\\$private\\$root\\$tracking¥配下の全ファイル

**注** (ディレクトリ) という表記はそこに存在するすべてのディレクトリを指します。ディレクトリを削除すると言う意味ではないので注意してください。内部のファイルのみ削除してください。

**備考** %InstallDirectory%は JobCenter 本体のインストールディレクトリを表します。

- ⑦ コントロールパネルのサービスから JobCenter 関連のサービスを次の順番で起動します。

- NetShepherd
- jnwengine service
- Comagent service
- Sclaunch service

以上で、JobCenter のバージョンアップ作業は終了です。



#### 注意事項

- ◆ 自ホスト名を変更する場合、ジョブネットワークの定義情報に関しては、jnwopコマンドで変換することによりデータを引き継ぎます。しかしながら、NQS関連の引き継ぎは行うことができません。このような場合は、「5.2.1 バージョンアップ」の手順に従ってバージョンアップしてください。
- ◆ バージョンダウンの場合、設定内容の引き継ぎはできません。

---

## 6. バージョンの確認方法

---

JobCenter のバージョン確認方法を説明します。

---

6.1 UNIX版

6.2 Windows版

6.1 UNIX 版

UNIX 版の製品のバージョンの確認は、コマンドを用いて行います。

6.1.1 JobCenter SV

6.1.1 JobCenter SV

以下の表に示すコマンドを例にパッケージのバージョンを確認します。  
パッチが適用されている環境では、NECSSJBpt のパッケージのバージョン番号を必ず確認するようにしてください。

表 6-1 JobCenter のバージョン確認コマンド OS 別一覧

| OS      | 確認対象のパッケージ名 | バージョン確認コマンド例         |
|---------|-------------|----------------------|
| HP-UX   | NECSSJBmg   | swlist <pkgname>     |
|         | NECSSJBag   |                      |
|         | NECSSJBpt   |                      |
| Solaris | NECSSJBmg   | pkginfo -l <pkgname> |
|         | NECSSJBag   |                      |
|         | NECSSJBpt   |                      |
| AIX     | NECSSJBag   | lspp -L NECSSJB*     |
|         | NECSSJBpt   |                      |
| Linux   | NECSSJBag   | rpm -q <pkgname>     |
|         | NECSSJBpt   |                      |

## 6.2 Windows 版

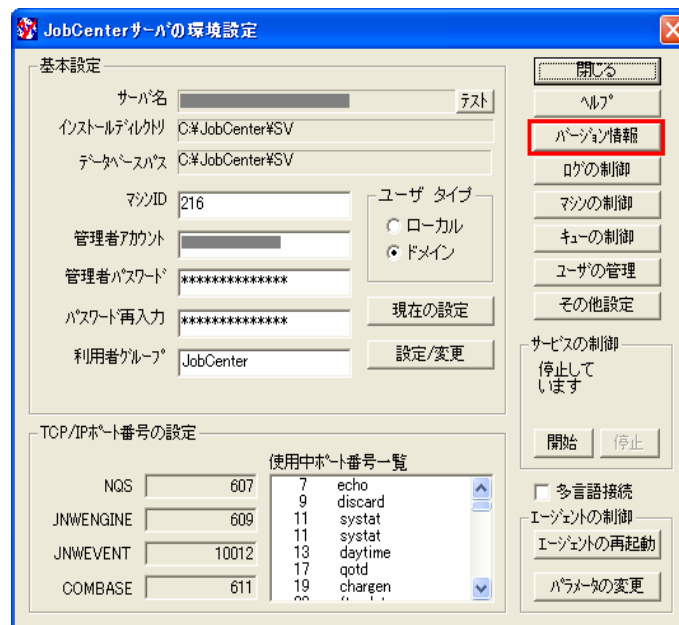
Windows 版の製品のバージョンの確認は、GUI を用いて行います。

### 6.2.1 JobCenter SV

#### 6.2.2 CL/Win

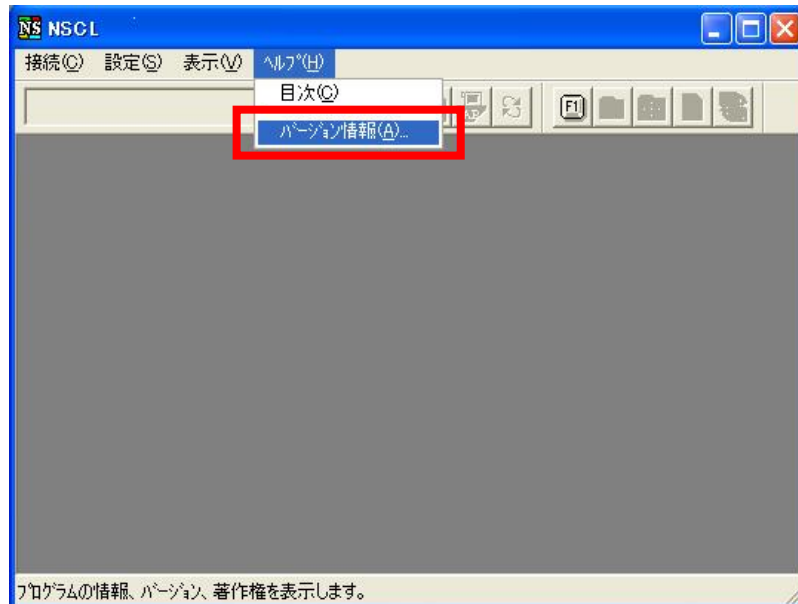
### 6.2.1 JobCenter SV

- ① Windows の [スタート] から、[すべてのプログラム] - [JobCenter] - [SV] - [サーバの環境設定] を実行します。
- ② [JobCenter サーバの環境設定] ダイアログが表示されたら、[バージョン情報] ボタンを押すことによってバージョン情報を確認することができます。



### 6.2.2 CL/Win

- ① Windows の [スタート] から、 [すべてのプログラム] – [JobCenter] – [Client] – [JobCenter クライアント] を実行します。
- ② CL/Win のウィンドウが表示し、メニューバーから[ヘルプ] – [バージョン情報]を選択することによってバージョン情報を確認することができます。



# 索引

## [.]

.rhosts ... 61

## [/]

/usr/spool/nqs ... 11

## [3]

32-bit Compatibility Layer ... 36

## [A]

AIX ... 62

AIX 版 ... 10, 26, 38, 50

## [B]

BASECenter ... 12, 62

BASECenter(MG) ... 62

## [C]

C++互換ライブラリ ... 12

## [H]

HP-UX 版 ... 10, 21, 34, 49, 64

## [I]

IA-32 Execution Layer ... 36

IA-32 アプリケーション ... 12

IA-64 システム ... 12, 36

Itanium ベース ... 12

## [J]

JobCenter ... 8, 37, 41, 48, 56, 57

JobCenter CL/Win ... 13, 51, 68

JobCenter MG ... 12, 34, 66

JobCenter MG/SV ... 13

JobCenter SV ... 12, 49, 66

JobCenter (SV) R12.2 ... 72

JobCenter (SV/NT) R4.1 ... 67, 72

JobCenter (SV/NT) R7.1 ... 67, 72

## [L]

LicenseManager ... 12, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 32, 64

LicenseManager(MainPart) ... 15, 27

Linux 版 ... 10, 25, 36, 50, 64

## [M]

Miracle Linux 版 ... 37

## [N]

NetShepEUI ... 11

NetShepherd ... 67, 72

NQS 関連 ... 66, 67, 71, 73

nssetup ... 56

## [R]

RedHat Linux ... 37

RedHat 版 ... 36

## [S]

Solaris 版 ... 10, 23, 35, 50, 64

## [U]

UMS 環境 ... 57

UNIX 版 ... 9, 56, 64, 66, 70, 77

## [W]

Windows 版 ... 13, 27, 39, 50, 65, 67, 72

## [あ]

アンインストール ... 63, 64, 65, 66, 67, 68

依存パッケージ ... 12, 15

イベント連携 ... 62

インストール ... 11, 14, 16, 17, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 32, 34, 36, 37, 48, 49, 51

インストールディレクトリ ... 10, 14

## [か]

環境変数 ... 67

管理者ユーザ ... 58

言語環境 ... 57

パスワード ... 31

互換ライブラリ ... 37

コマンド ... 56

## [さ]

実行環境 ... 56

スプールディレクトリ ... 11, 14

セットアップ ... 56

セットアップ画面 ... 52

## [た]

対応 OS ... 9, 13

通常インストール ... 41

ディスク容量 ... 11, 14

データディレクトリ ... 11, 14

動作環境 ... 8, 13

登録 ... 31

## [な]

ネットワーク ... 17

## [は]

バージョンアップ ... 69, 70, 72, 76, 77, 78

パスワード … 61  
パッケージ … 10, 14, 64, 65, 66, 67, 68  
引き継ぎ … 71, 73  
ホームディレクトリ … 11  
ホスト ID … 20

**【ま】**

メッセージ … 32  
メモリ容量 … 9, 13, 21, 23, 25, 27

**【や】**

ユーザ関連 … 66, 67

**【ら】**

ライセンスマネージャ … 12, 15  
レジストリ関連 … 67, 68  
連携 … 12

**【わ】**

割り当て … 20



